

給排水衛生・消火・ろ過設備 機器表

記 号	機 器 名 称	仕 様	電 源				台数	設 置 場 所		備 考 (参考型番)
			相	電圧	kW	起動		階	室 名	
TW－1	受水槽兼消火水槽 (残置)	型 式：コンクリート製（躯体上部にマンホール600φ）					1	1	屋外ポンプ室	（改修後は消火水槽として再使用）
		容 量：有効40.0t								
		外形寸法：5,600×3,000×2,900H								
TWH－1	高架水槽兼消火用充水槽	型 式：FRP製パネルタンク（保温）					1	R	校舎棟 屋上	
		容 量：呼称：有効10.0t								
		外形寸法：3,000×2,000×2,000H								
		付 属 品：チャンネル架台、標準付属品一式								
PW－1	揚水ポンプ	型 式：片吸込渦巻ポンプ（自動交互同時運転）	3	200	5.5		2	1	屋外ポンプ室	65×50FSW2H55.5B（荏原）
		能 力：65φ×460L/min×29m								外形：350W×920D×400H
		付 属 品：制御盤（2台で1面）（電気工事）、他標準付属品一式								重量：114kg
PF－1	屋内消火栓ポンプ	型 式：多段ポンプ	3	200	11.0		1	1	屋外ポンプ室	80MS4511B（荏原）
		能 力：80×65φ×600L/min×53m								外形：300W×1500D×500H
		付 属 品：制御盤、他標準付属品一式								重量：300kg
WHG－1	ガス給湯器	型 式：ガス瞬間給湯器 元止式 屋内壁掛形					1	2	校舎棟 給湯室	
		ガス消費量：10.5kW LPG用								
		付 属 品：標準付属品一式								
WHG－2	ガス給湯器	型 式：ガス瞬間給湯器 給湯専用 PS扉内後方排気型					1	1	部室棟 教員室	
		ガス消費量：33.6kW LPG用								
		付 属 品：標準付属品一式								
HB－1A	屋内消火栓（埋込形）	形 式：1号消火栓（火報併設形）					11			
		寸 法：750×180×1000H					(3)	1	校舎棟 廊下	
		付属品：消火栓弁40A、布ホース40A×15m×2本、他標準付属品一式					(4)	2	校舎棟 廊下	
							(各階2)	3・4	校舎棟 廊下	
HB－1B	屋内消火栓（露出形）	形 式：1号消火栓（火報併設形）					1	1	校舎棟 廊下	
		寸 法：750×180×1000H								
		付属品：消火栓弁40A、布ホース40A×15m×2本、他標準付属品一式								
PS－1	校庭散水ポンプ	型 式：多段ポンプ	3	200	11.0		1	1	プール棟附室、機械室	80MS511B（荏原）
		能 力：80φ×710L/min×60m								外形：400W×1530D×450H
		付 属 品：制御盤、他標準付属品一式								重量：339kg
	制御盤	寸 法：300W×180D×500H(mm) 重 量：12.1kg					1	1	プール棟附室、機械室	
WF－1	ろ過機	型 式：サヤマ式珪藻土ろ過装置					1	1	プール棟附室、機械室	P-50（日本フィルコン）
		能 力：75m3/h								外形：950φ×2,215H
		付 属 品：電動弁、圧力スイッチ、自動エアー抜き、圧力計、他弁類等								重量：540kg
	ろ過ポンプ	型 式：FC製片吸込渦巻形	3	200	3.7		1	1	プール棟附室、機械室	100SF53.7B（荏原）
		能 力：100φ×0.63m3/min×16m								外形：300W×860D×420H
		付 属 品：集毛器（本体、スクリーン共）、防振架台、他標準付属品一式								重量：105kg
	制御盤	寸 法：800W×200D×1200H(mm) 重 量：55.1kg					1	1	プール棟附室、機械室	
GT－1	グリーストラップ	形 式：コンクリート製グリーストラップ					1	1	屋外	
		外形寸法：1,890×840×1,180H								

汚水樹リスト

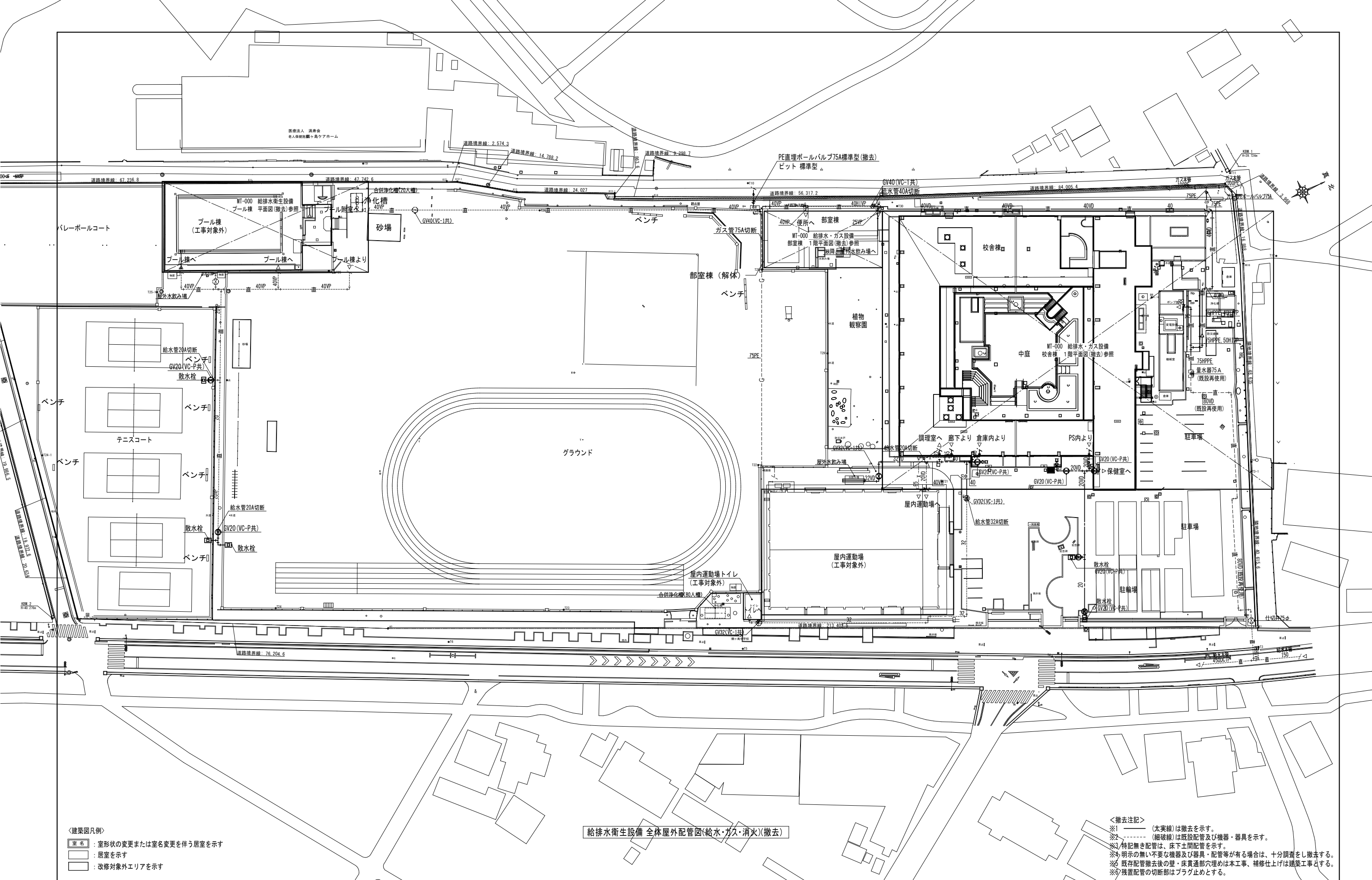
樹の記号	樹の種類	樹の種類	樹の仕様	管路径 (mm)	樹径 (mm)	樹深さ (mm)	樹蓋種別	地盤高さ (mm)	備考 ・ その他
【 校舎棟 】									
①	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	100HP	600×600	400	コンクリート蓋 600	±0	土工部（草地共）
②	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	125HP	450×450	480	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	土工部（草地共）
③	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	125HP	450×450	500	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	土工部（草地共）
④	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	125HP	450×450	520	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	土工部（草地共）
⑤	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	125HP	450×450	540	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	土工部（草地共）
⑥	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	125HP	450×450	620	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	土工部（草地共）
⑦	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	125HP	600×600	680	鑄鉄蓋 MHA－600	±0	土工部（草地共）
⑧	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	150HP	600×600	740	鑄鉄蓋 MHA－600	±0	土工部（草地共）
⑨	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	150HP	600×600	770	鑄鉄蓋 MHA－600	±0	土工部（草地共）
⑩	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	200HP	600×600	860	鑄鉄蓋 MHA－600	±0	土工部（草地共）
⑪	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	200HP	600×600	930	鑄鉄蓋 MHA－600	±0	土工部（砂利）
⑫	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	200HP	600×600	1040	鑄鉄蓋 MHA－600	±0	土工部（砂利）
⑬	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	300HP	600×600	1060	鑄鉄蓋 MHA－600	±0	アスファルト舗装
⑭	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	100HP	450×450	450	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	土工部（草地共）
⑮	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	125HP	450×450	460	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	土工部（草地共）
⑯	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	150HP	450×450	470	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	土工部（草地共）
⑰	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	150HP	450×450	470	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	土工部（草地共）
⑱	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	150HP	450×450	450	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	土工部（草地共）
⑲	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	150HP	450×450	540	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	土工部（草地共）
⑳	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	150HP	450×450	490	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	アスファルト舗装
㉑	インバート樹	コンクリート製樹	SC－4	300HP	750×750	1390	鑄鉄蓋 MHA－750	±0	アスファルト舗装
㉒	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	200HP	600×600	500	コンクリート蓋 600	±0	土工部（草地共）【最終樹】
㉓	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	100HP	450×450	318	コンクリート蓋 450	±0	
㉔	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	100HP	450×450	338	コンクリート蓋 450	±0	
㉕	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	125HP	450×450	360	コンクリート蓋 450	±0	
㉖	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	125HP	450×450	378	コンクリート蓋 450	±0	
㉗	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	125HP	450×450	403	コンクリート蓋 450	±0	
㉘	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	150HP	450×450	423	コンクリート蓋 450	±0	
㉙	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	150HP	450×450	475	コンクリート蓋 450	±0	
㉚	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	150HP	600×600	520	コンクリート蓋 600	±0	
㉛	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	150HP	600×600	530	コンクリート蓋 600	±0	
㉜	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	150HP	600×600	549	コンクリート蓋 600	±0	
㉝	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	150HP	600×600	550	コンクリート蓋 600	±0	
㉞	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	150HP	600×600	600	コンクリート蓋 600	±0	
㉟	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	200HP	600×600	650	鑄鉄蓋 MHA－600	±0	
㊱	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	200HP	600×600	762	鑄鉄蓋 MHA－600	±0	
㊲	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	200HP	600×600	878	鑄鉄蓋 MHA－600	±0	
㊳	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	200HP	600×600	1010	鑄鉄蓋 MHA－600	±0	
㊴	インバート樹	コンクリート製樹	SC－4	250HP	750×750	1134	鑄鉄蓋 MHA－750	±0	アスファルト舗装（車道用）
㊵	インバート樹	コンクリート製樹	SC－4	250HP	750×750	1190	鑄鉄蓋 MHA－750	±0	
㊶	インバート樹	コンクリート製樹	SC－4	300HP	750×750	1250	鑄鉄蓋 MHA－750	±0	
㊷	インバート樹	コンクリート製樹	SC－3	125C1P	600×600	460	鑄鉄蓋 MHA－600	+350	
㊸	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	100HP	450×450	500	化粧蓋－450	±0	
㊹	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	150HP	450×450	550	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	
㊺	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	150HP	450×450	600	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	
㊻	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	100HP	450×450	300	コンクリート蓋 450	±0	土工部（砂利）
㊼	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	100HP	450×450	400	コンクリート蓋 450	±0	土工部（砂利）
㊽	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	100HP	450×450	500	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	
㊾	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	100HP	450×450	450	コンクリート蓋 450	±0	
㊿	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	100HP	450×450	300	コンクリート蓋 450	±0	
㊽	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	100HP	450×450	600	コンクリート蓋 450	±0	
㊾	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	100HP	450×450	450	コンクリート蓋 450	±0	
【 部室棟 】									
⑩①	インバート樹	コンクリート製樹	SC－1	100VP	360×360	250	コンクリート蓋 360	±0	土工部（草地共）
⑩②	インバート樹	コンクリート製樹	SC－1	100VP	360×360	260	コンクリート蓋 360	±0	土工部（草地共）
⑩③	インバート樹	コンクリート製樹	SC－1	100VP	360×360	280	コンクリート蓋 360	±0	土工部（草地共）
⑩④	インバート樹	コンクリート製樹	SC－1	100VP	360×360	320	コンクリート蓋 360	±0	土工部（草地共）
【 プール棟 】									
㉒⑩	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	100VP	450×450	200	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	コンクリート舗装
㉒⑪	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	125VP	450×450	240	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	コンクリート舗装
㉒⑫	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	125VP	450×450	270	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	土工部（草地共）
㉒⑬	インバート樹	コンクリート製樹	SC－2	125VP	450×450	460	鑄鉄蓋 MHA－450	±0	土工部（草地共）
㉒⑭	インバート樹	コンクリート製樹		125VP				±0	コンクリート舗装
㉒⑮	インバート樹	コンクリート製樹		125VP				±0	コンクリート舗装
㉒⑯	インバート樹	コンクリート製樹		125VP				±0	コンクリート舗装【最終樹】

＜撤去注記＞

※1 太字（ゴシック文字）は撤去する機器・器具を示す。

※2 細字（ベクトル文字）は工事対象外を示す。

 KUJI ARCHITECTS STUDIO 株式会社 久慈設計 埼玉事務所 埼玉県さいたま市桜区西堀8-20-27 サニープレイス201号 TEL048-789-6033	一級建築士事務所 埼玉県 (I) 第11789号	承認	審査	検図	製図	特記	業務番号 23110	工事名称 鶴ヶ島中学校大規模改修工事（機械設備）			
	一級建築士登録 第323324号 千葉 聡							図面内容 給排水衛生・消火・ろ過設備 機器表、樹リスト（撤去）		縮尺 A1：－ A3：－	図章 区分 図章 番号 機械設備 MT-01



<建築図凡例>
室名：室形状の変更または室名変更を伴う居室を示す
居室を示す
改修対象外エリアを示す

給排水衛生設備 全体屋外配管図(給水・ガス・消火)(撤去)

<撤去注記>
※1 (太実線)は撤去を示す。
※2 (細破線)は既設配管及び機器・器具を示す。
※3 特記無き配管は、床下土間配管を示す。
※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等がある場合は、十分調査をし撤去する。
※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上げは建築工事とする。
※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。

KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計 埼玉事務所
埼玉県さいたま市桜区西堀8-20-27 サニープレイス201号 TEL048-789-6033

一級建築士事務所
埼玉県(1)第11789号
一級建築士登録
第323324号
千葉 聡

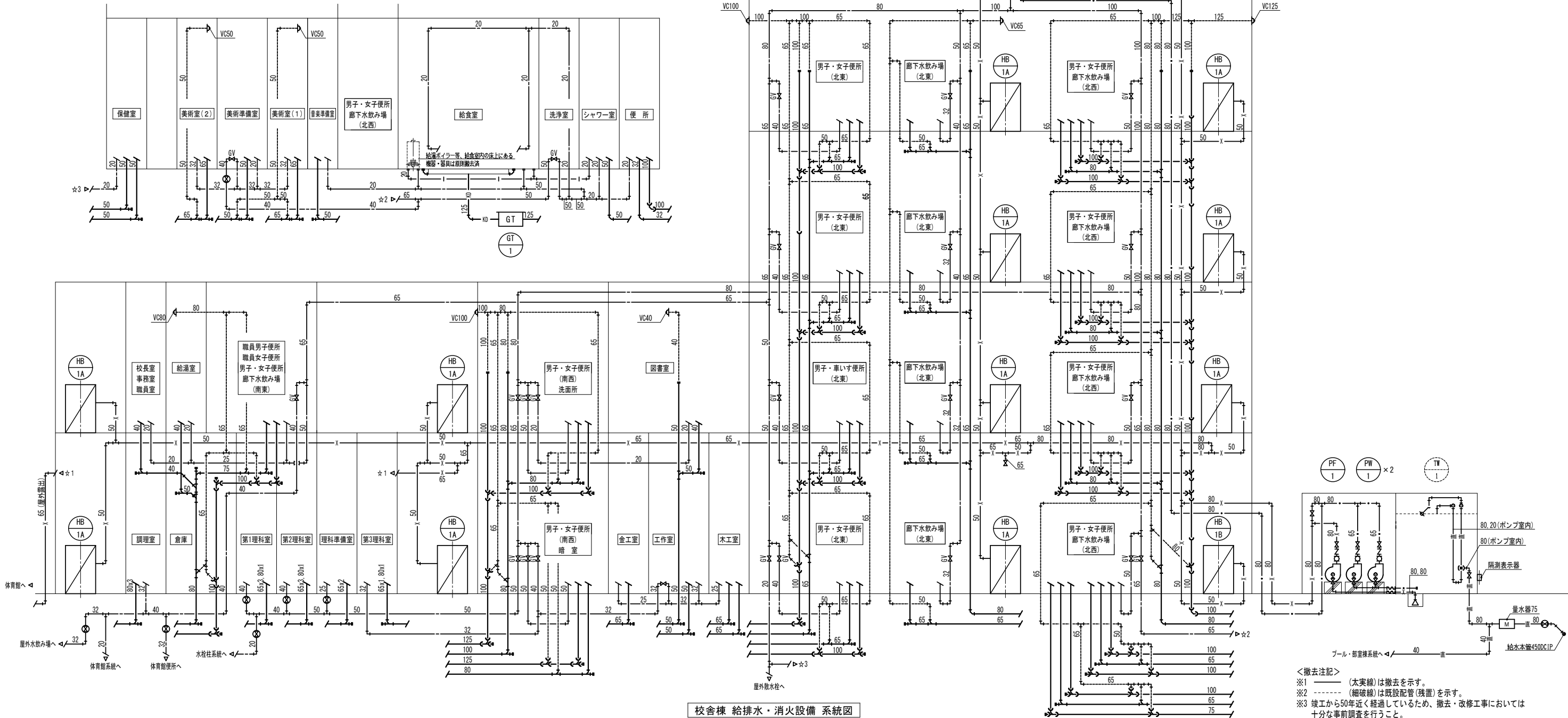
承認 審査 検図 製図 特記

業務番号 23110 工事名称 鶴ヶ島中学校大規模改修工事(機械設備)

図面内容 給排水衛生設備 全体屋外配管図(給水・ガス・消火)(撤去) 縮尺 A1:S=1/400 A3:S=1/800 図面区分 機械設備 図面番号 MT-03

凡 例

記 号	名 称	管 種	備 考
——	給水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VB)	屋内一般・屋外露出
——直——	給水管 (水道直結)	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD)	土中埋設・土間
——・——	揚水管	硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VD)	土中埋設・土間
——I——	給湯管	水配管用垂鉛めっき鋼管 (SGP-W)	屋内一般・屋外露出
——→——	污水管	排水用鉄鉄管 (メカニカル形 HASS 210 2種管)	土中埋設・土間 (第一樹まで)
——	雑排水管	水配管用垂鉛めっき鋼管 (SGP-W)	屋内一般・屋外露出
——VP——	排水管	硬質塩化ビニル管 (VP)	土中埋設・土間 (第一樹まで)
——HP——	排水管	ヒューム管 (B形ソケット)	屋内一般・屋外露出
——	通気管	水配管用垂鉛めっき鋼管 (SGP-W)	土中埋設 (第一樹以降)
——	通気管	水配管用垂鉛めっき鋼管 (SGP-W)	土間
——X——	消火管	水配管用垂鉛めっき鋼管 (SGP-W)	土中埋設・土間
——G——	都市ガス管	硬質塩化ビニル被覆鋼管 (カラー鋼管)	屋外露出
——PG——	プロパンガス管	ポリエチレン管 (PE管)	土中埋設
——	配管用炭素鋼鋼管 (SGP-白)	配管用炭素鋼鋼管 (SGP-白)	屋内一般・屋外露出・土中埋設・土間

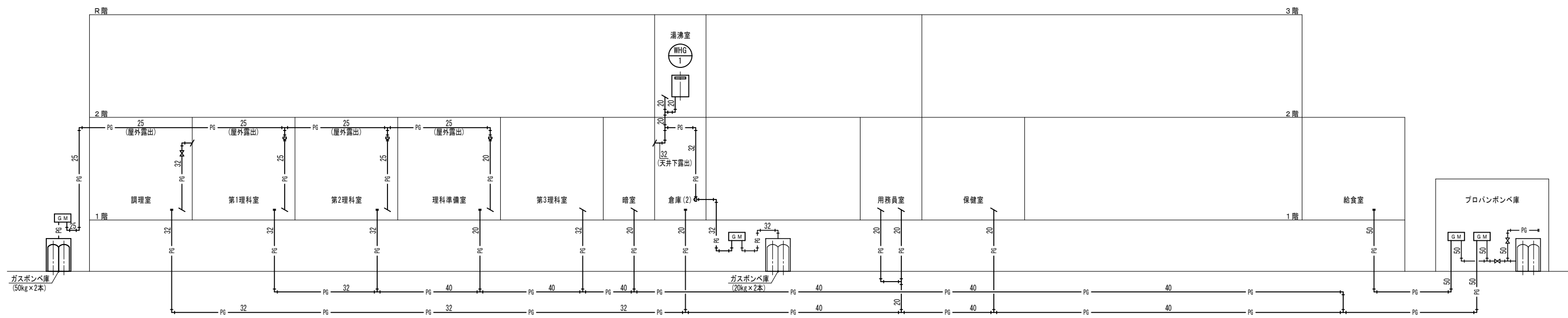


校舎棟 給排水・消火設備 系統図

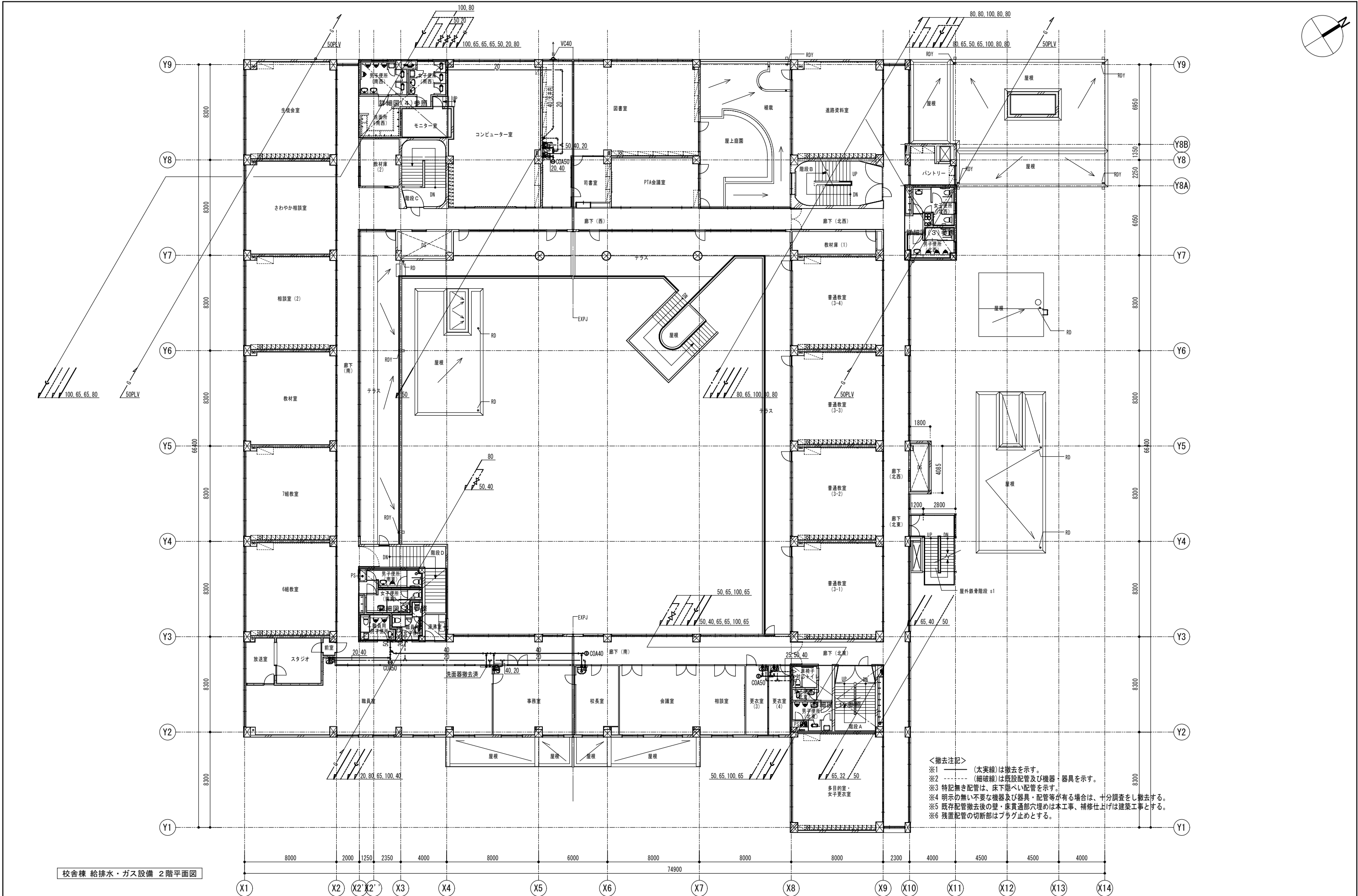
＜撤去注記＞
※1 太実線は撤去を示す。
※2 細破線は既設配管(残置)を示す。
※3 竣工から50年近く経過しているため、撤去・改修工事においては十分な事前調査を行うこと。
※4 生活排水は全て浄化槽に接続した後、放流とする。



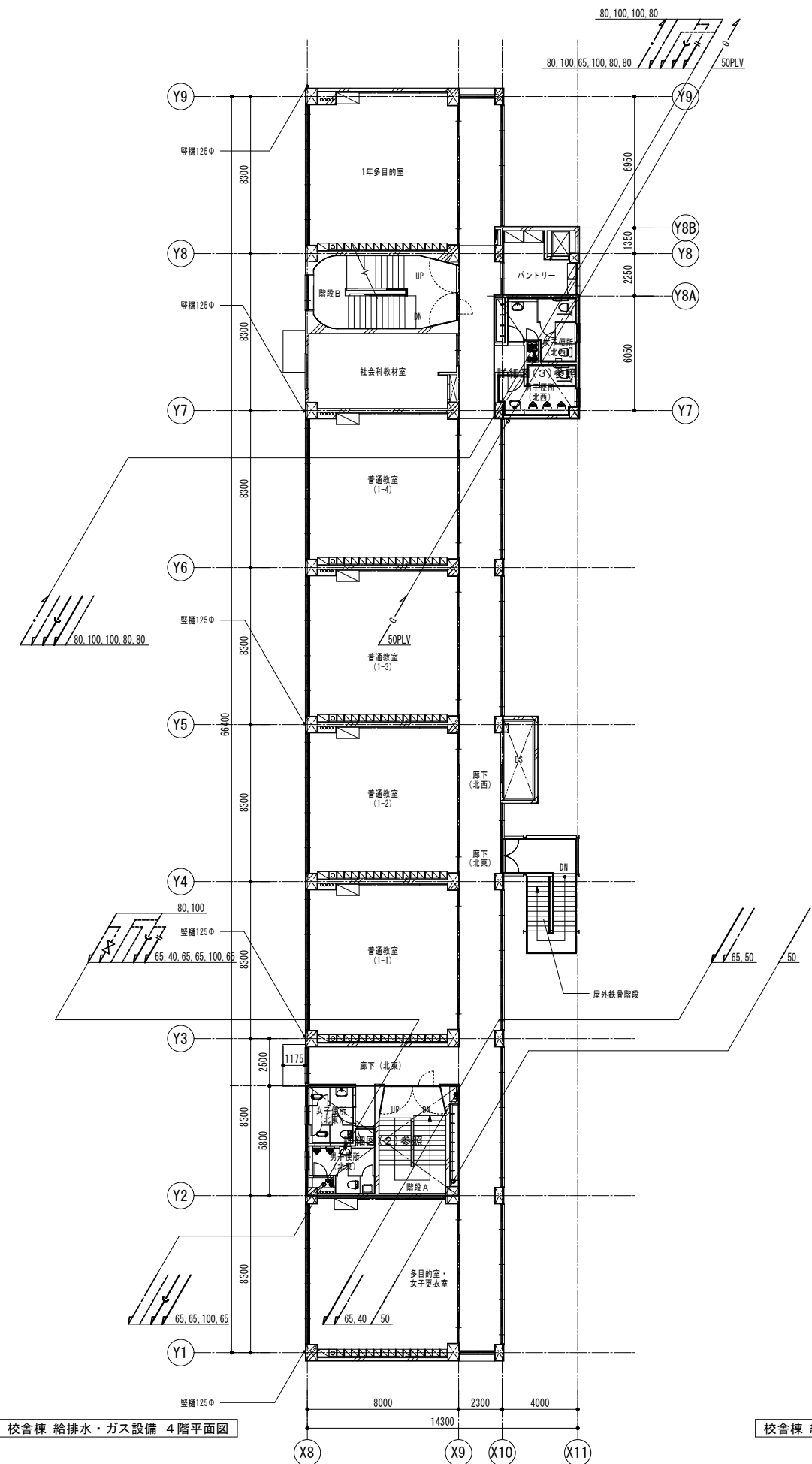
校舎棟 都市ガス設備 系統図



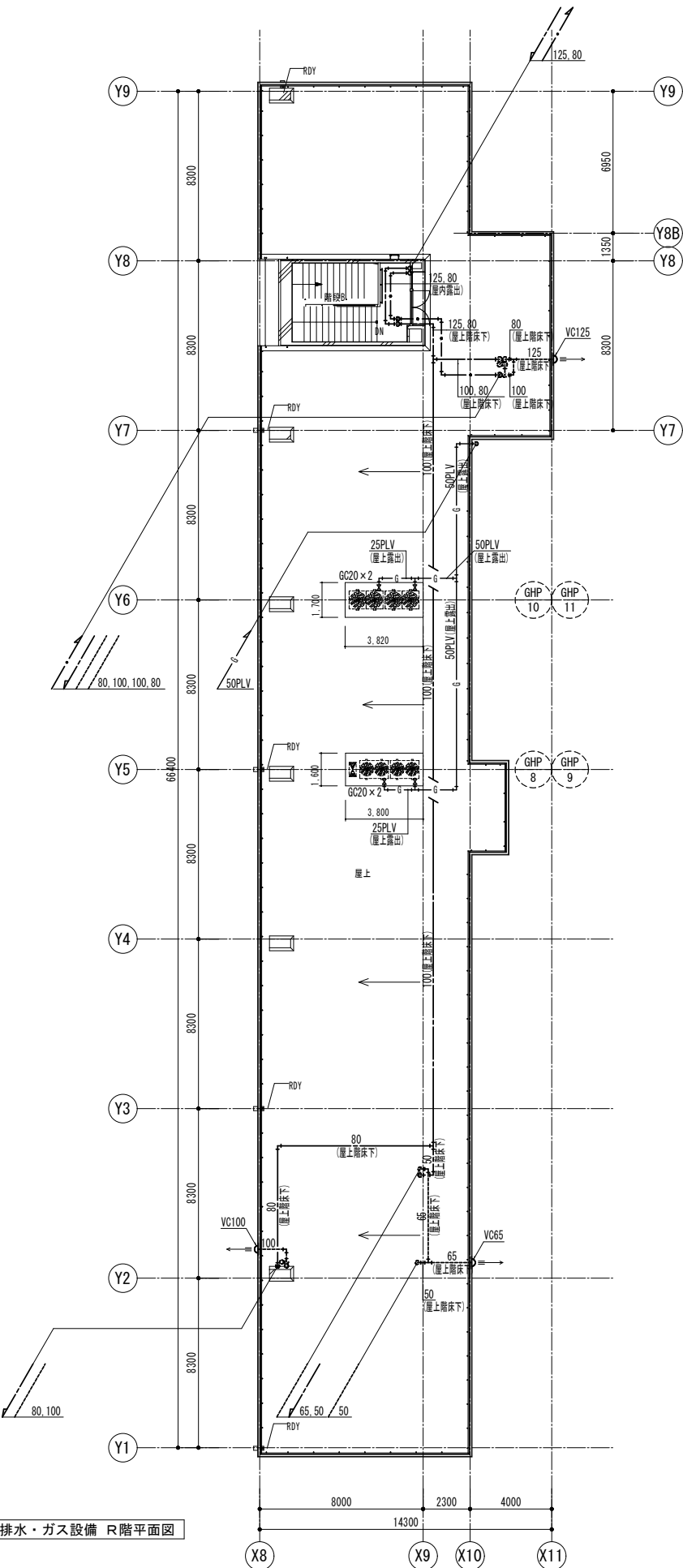
校舎棟 液化石油ガス設備 系統図



校舎棟 給排水・ガス設備 2階平面図



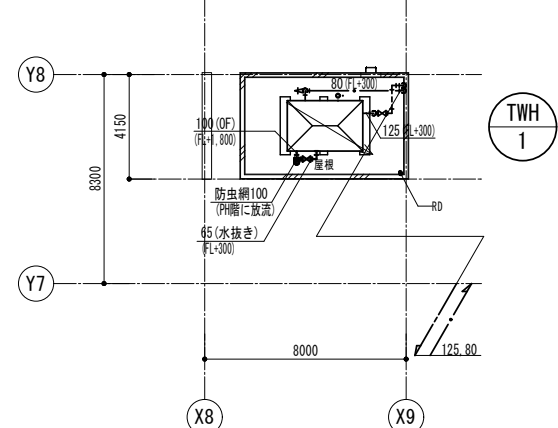
校舎棟 給排水・ガス設備 4階平面図



校舎棟 給排水・ガス設備 R階平面図

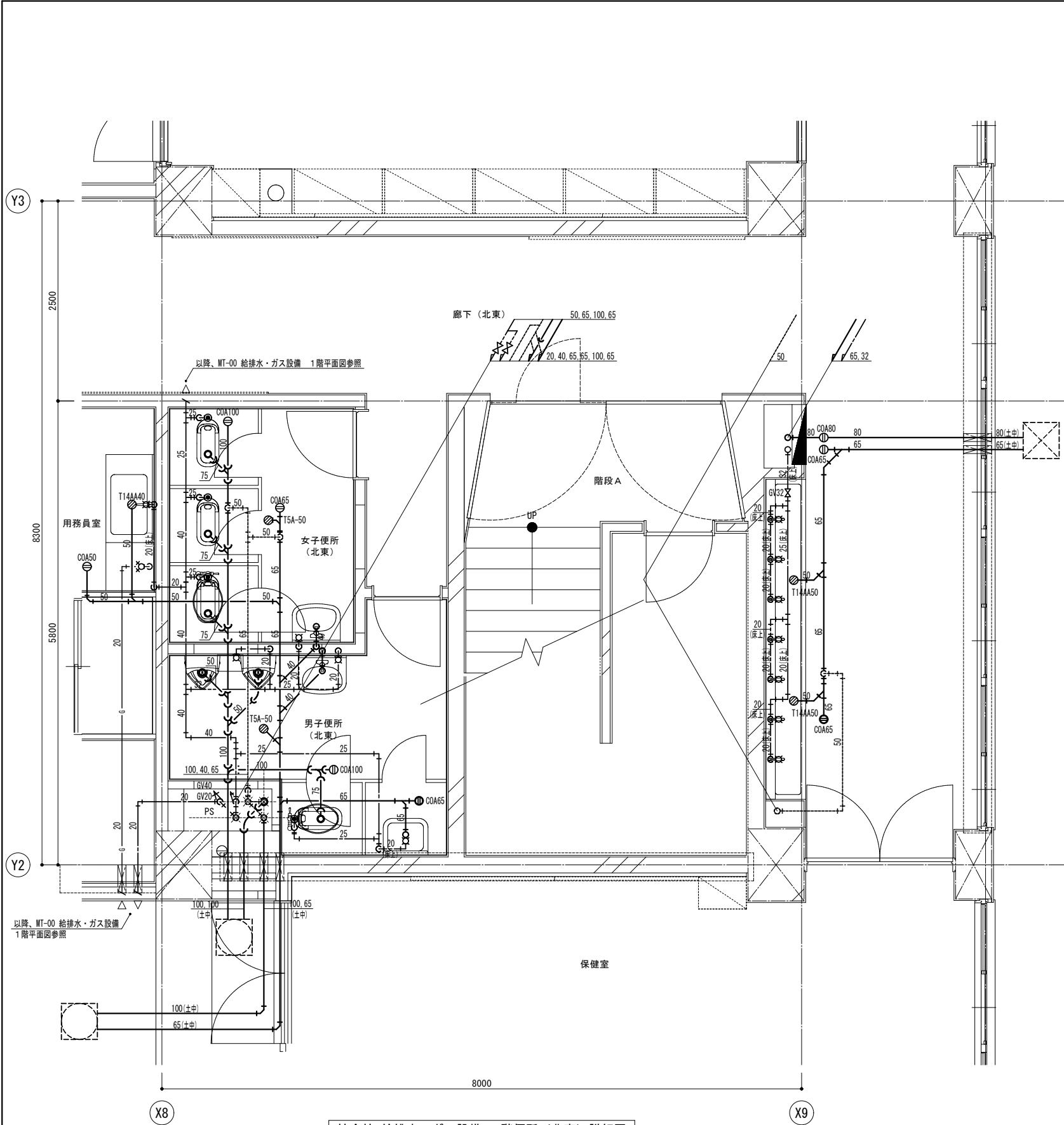
高架水槽 (TWH-1) 廻り弁リスト

名称	口径	数量
仕切弁 (GV)	JIS5K	65 1
仕切弁 (GV)	JIS5K	80 1
仕切弁 (GV)	JIS5K	100 1
フレキ継手 (FJ)	SUS製300L	80 1
防虫網	SUS製	100 1

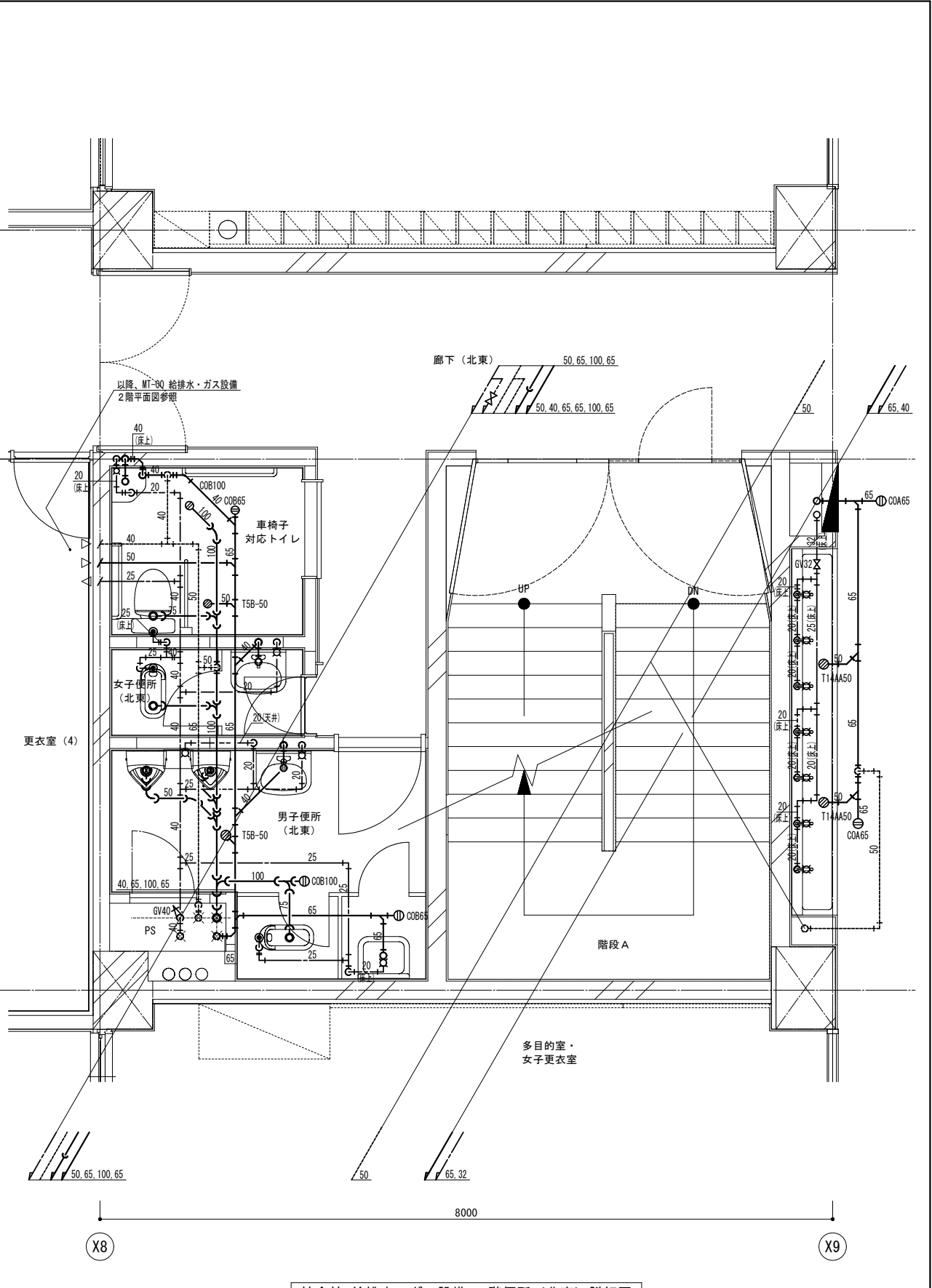


校舎棟 給排水・ガス設備 PH階平面図

<撤去注記>
※1 (太実線)は撤去を示す。
※2 (細破線)は既設配管及び機器・器具を示す。
※3 特記無き配管は、床下隠ぺい配管を示す。
※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上は建築工事とする。
※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。



校舎棟 給排水・ガス設備 1階便所（北東）詳細図



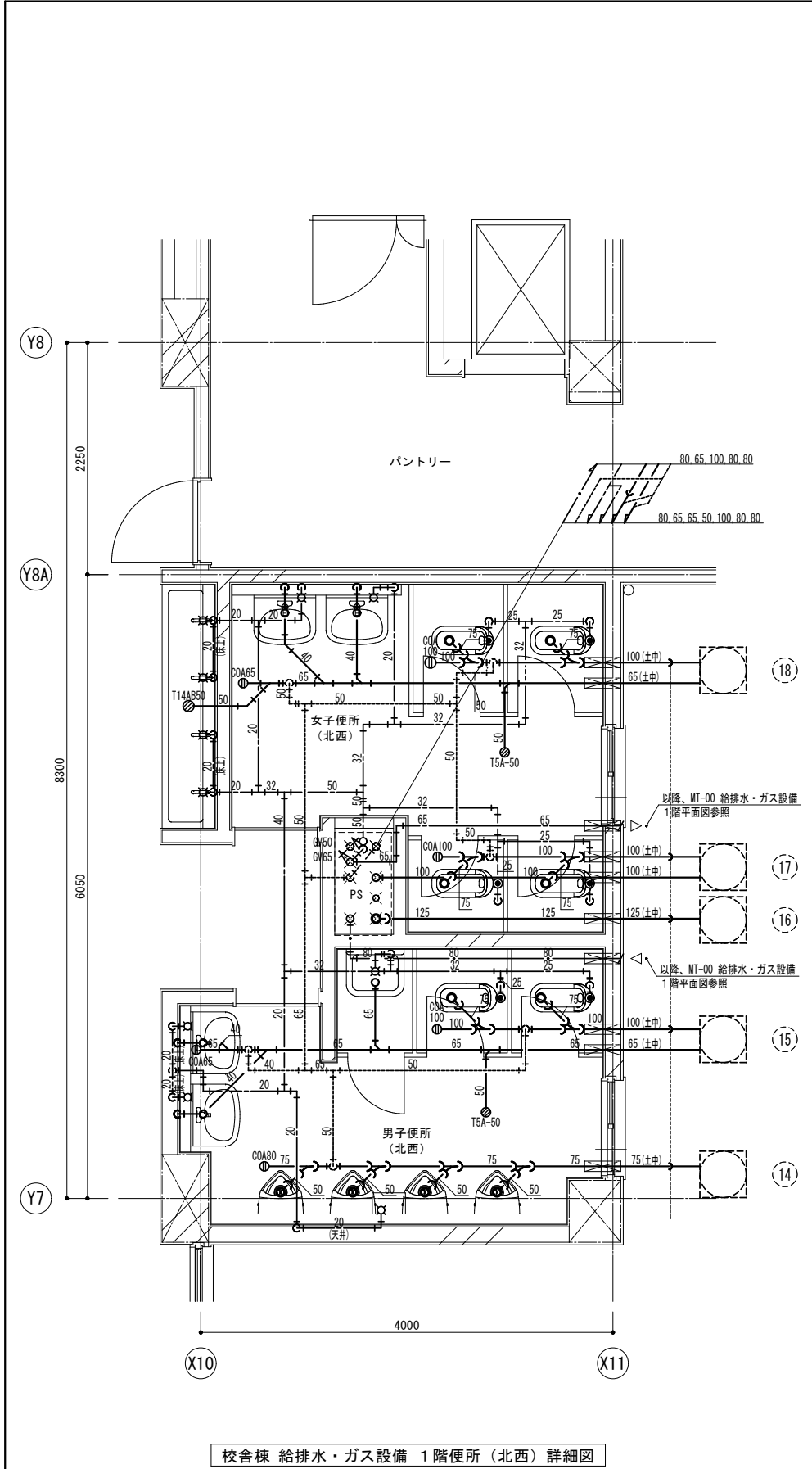
校舎棟 給排水・ガス設備 2階便所（北東）詳細図

<撤去注記>
※1 太実線は撤去を示す。
※2 細破線は既設配管及び機器・器具を示す。
※3 特記無き配管は、床下隠ぺい配管を示す。
※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上は建築工事とする。
※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。

<撤去注記>
※1 太実線は撤去を示す。
※2 細破線は既設配管及び機器・器具を示す。
※3 特記無き配管は、床下隠ぺい配管を示す。
※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上は建築工事とする。
※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。

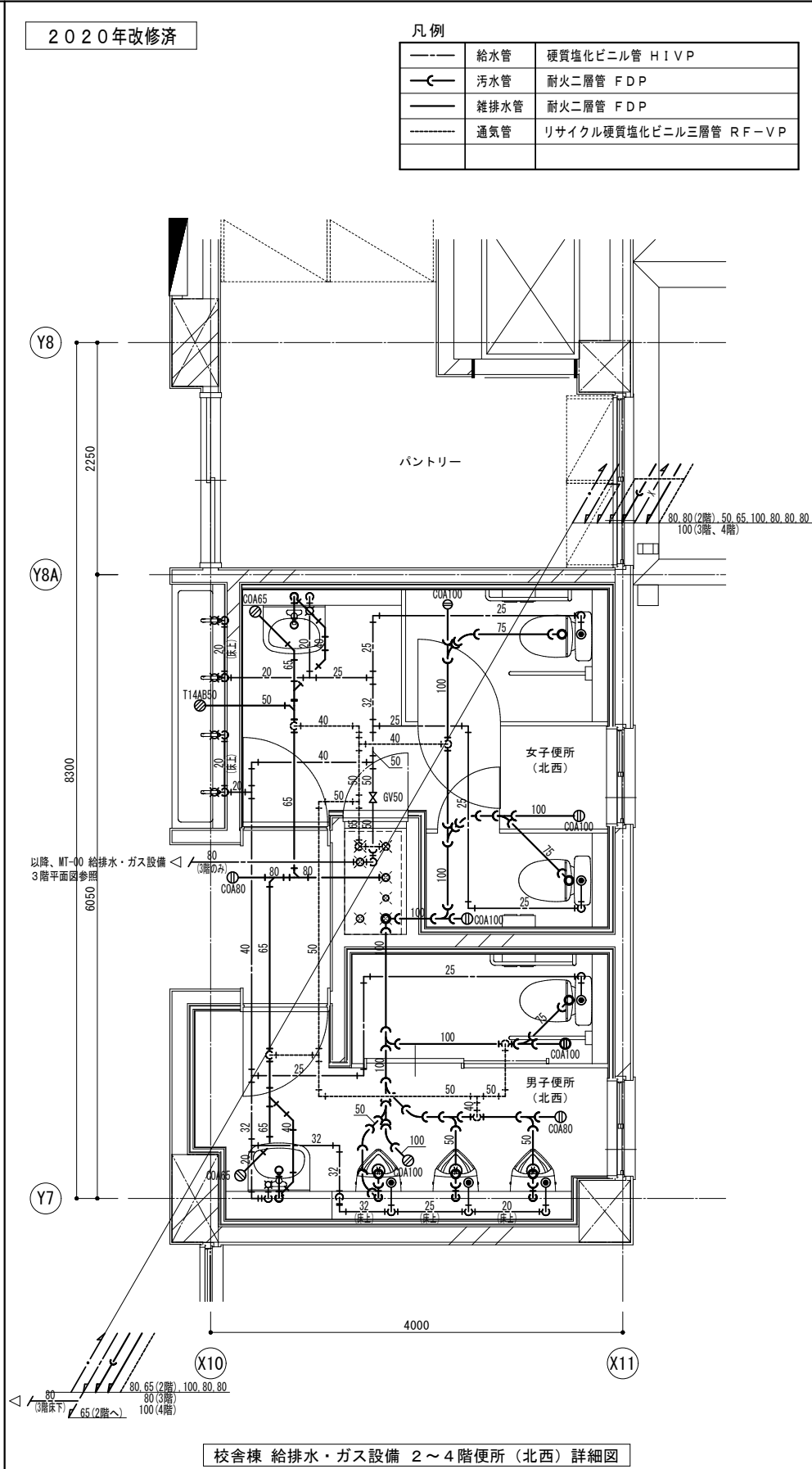
※1 ——— (太実線)は撤去を示す。
 ※2 - - - - - (細破線)は既設配管及び機器・器具を示す。
 ※3 特記無き配管は、床下隠ぺい配管をす。
 ※4 明示の無い必要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
 ※5 既存配管撤去後の壁・床真通部穴埋めは本工事、修繕仕上げは建築工事とする。
 ※6 残置配管の切断部はプラグ止とする。

※1 〃 (太実線)は撤去を示す。
 ※2 〃 (細破線)は既設配管及び機器・器具を示す。
 ※3 特記無き配管は、床下隠ぺい配管を示す。
 ※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
 ※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕方は建築工事とする。
 ※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。



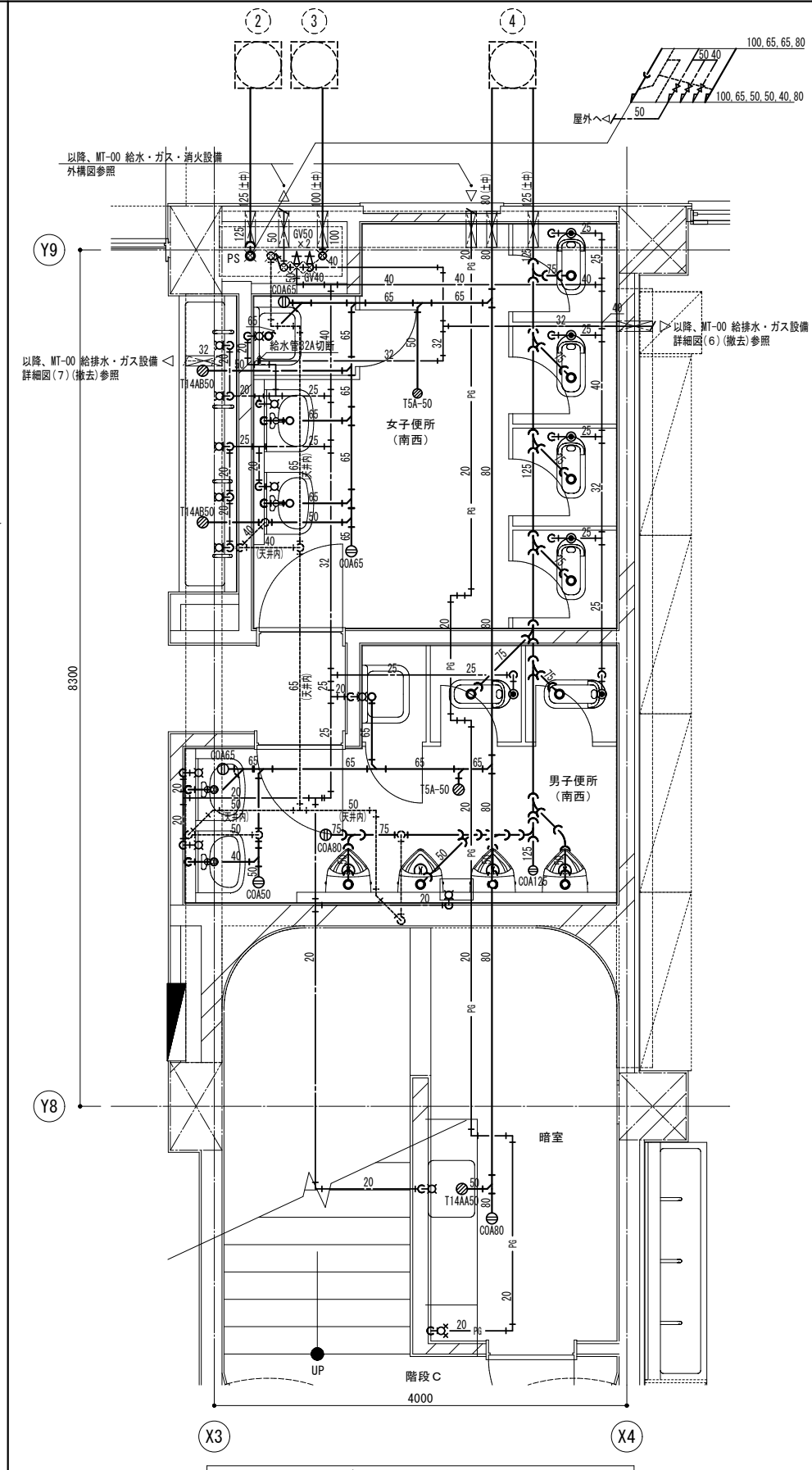
校舎棟 給排水・ガス設備 1階便所（北西）詳細図

＜撤去注記＞
※1 (太実線)は撤去を示す。
※2 (細破線)は既設配管及び機器・器具を示す。
※3 特記無き配管は、床下隠ぺい配管を示す。
※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上は建築工事とする。
※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。



校舎棟 給排水・ガス設備 2～4階便所（北西）詳細図

＜撤去注記＞
※1 (太実線)は撤去を示す。
※2 (細破線)は既設配管及び機器・器具を示す。
※3 特記無き配管は、床下隠ぺい配管を示す。
※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上は建築工事とする。
※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。



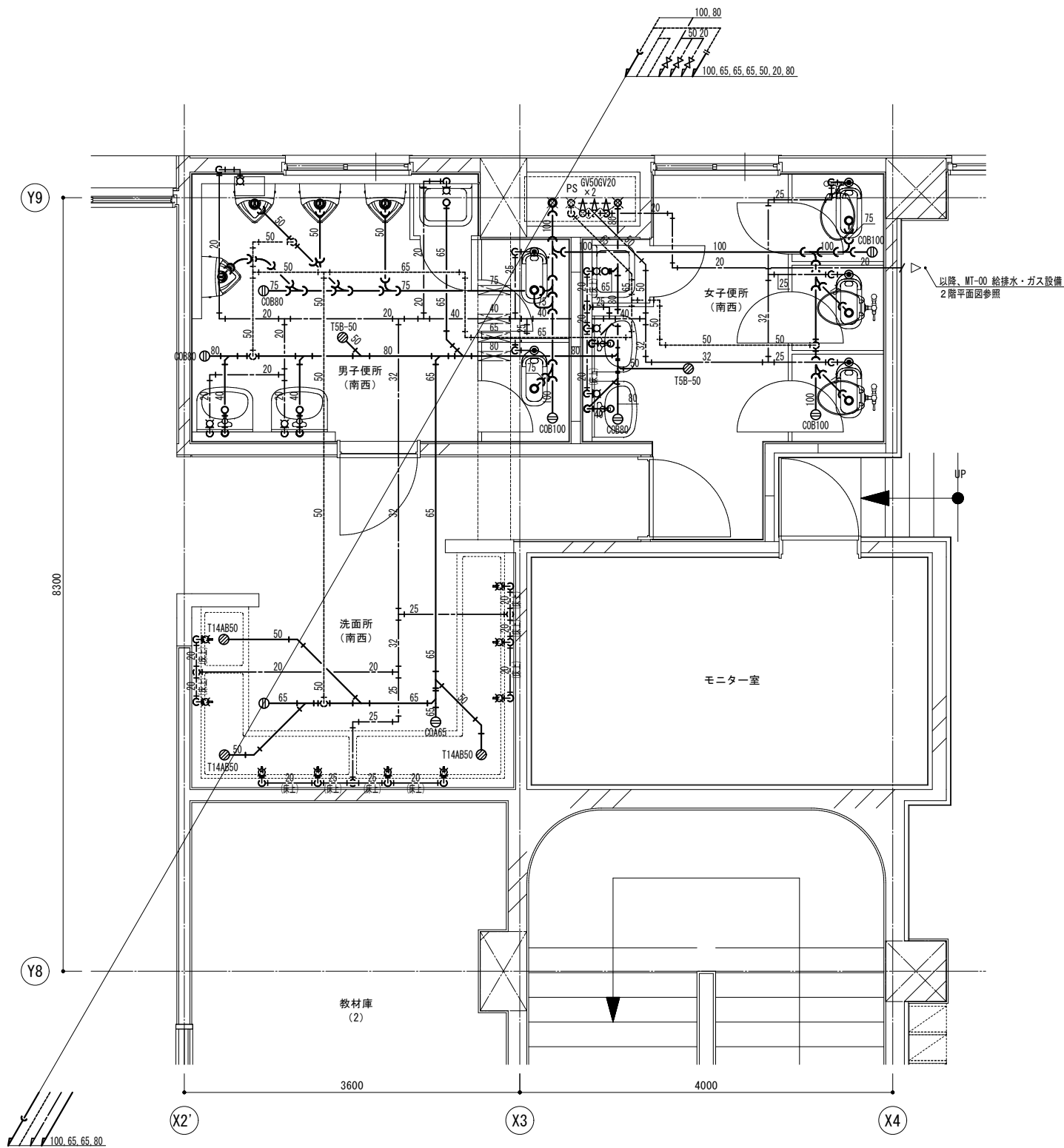
校舎棟 給排水・ガス設備 1階便所（南西）廻り詳細図

＜撤去注記＞
※1 (太実線)は撤去を示す。
※2 (細破線)は既設配管及び機器・器具を示す。
※3 特記無き配管は、床下隠ぺい配管を示す。
※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上は建築工事とする。
※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。

2020年改修済

凡例

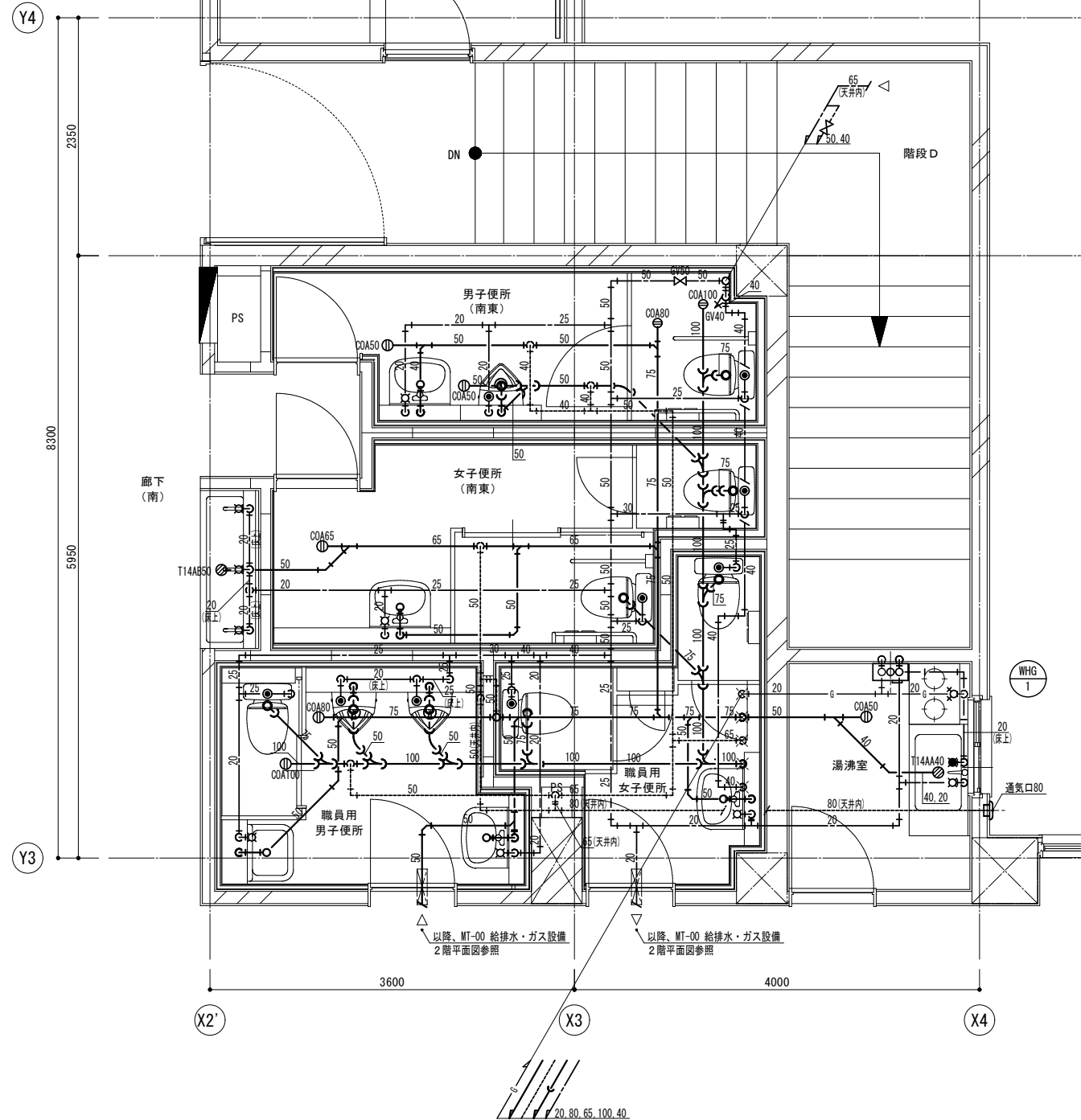
	給水管	硬質塩化ビニル管 H I V P
	汚水管	耐火二層管 F D P
	雑排水管	耐火二層管 F D P
	通気管	リサイクル硬質塩化ビニル三層管 R F - V P



校舎棟 給排水・ガス設備 2階便所（南西）廻り詳細図

<撤去注記>

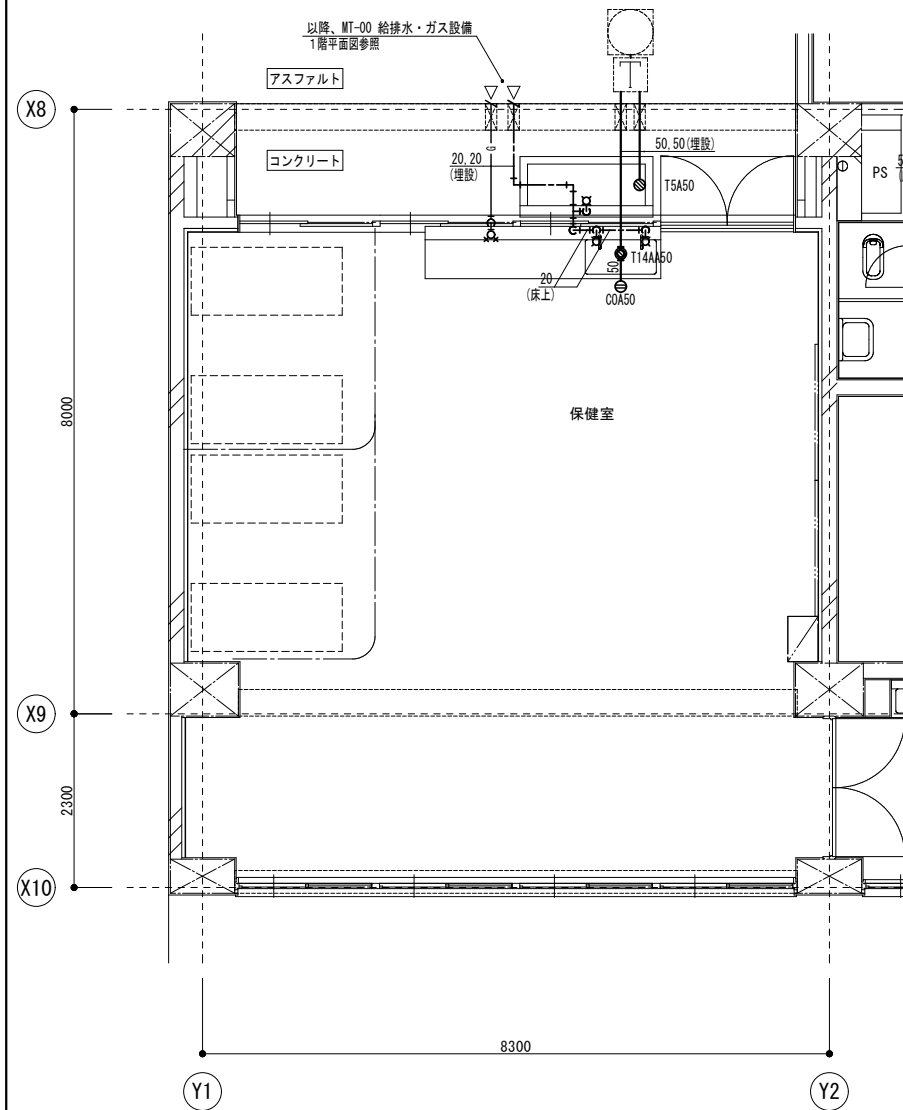
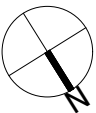
- ※1 (太実線)は撤去を示す。
- ※2 (細破線)は既設配管及び機器・器具を示す。
- ※3 特記無き配管は、床下隠ぺい配管を示す。
- ※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
- ※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上は建築工事とする。
- ※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。



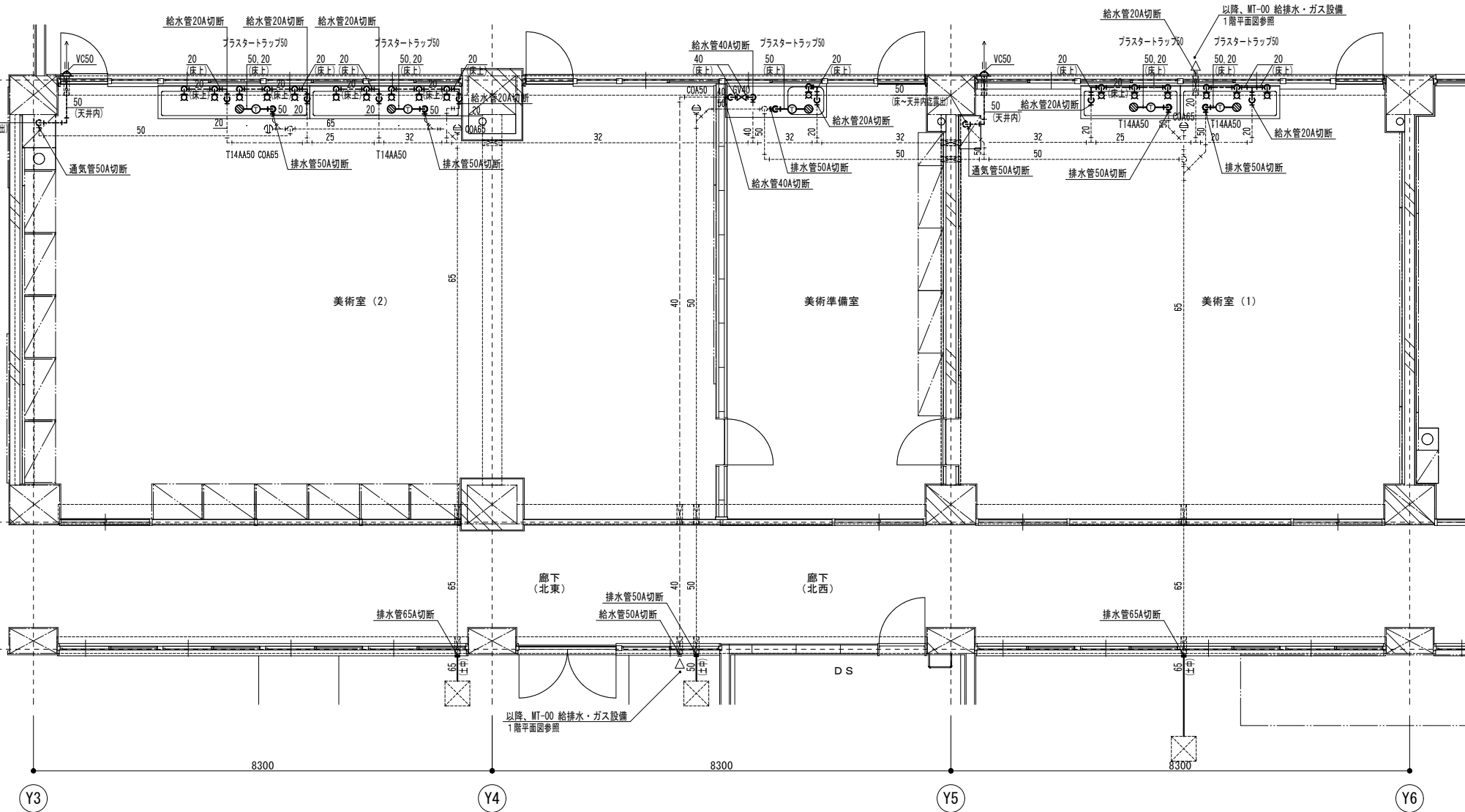
校舎棟 給排水・ガス設備 2階便所（南東）廻り詳細図

<撤去注記>

- ※1 (太実線)は撤去を示す。
- ※2 (細破線)は既設配管及び機器・器具を示す。
- ※3 特記無き配管は、床下隠ぺい配管を示す。
- ※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
- ※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上は建築工事とする。
- ※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。



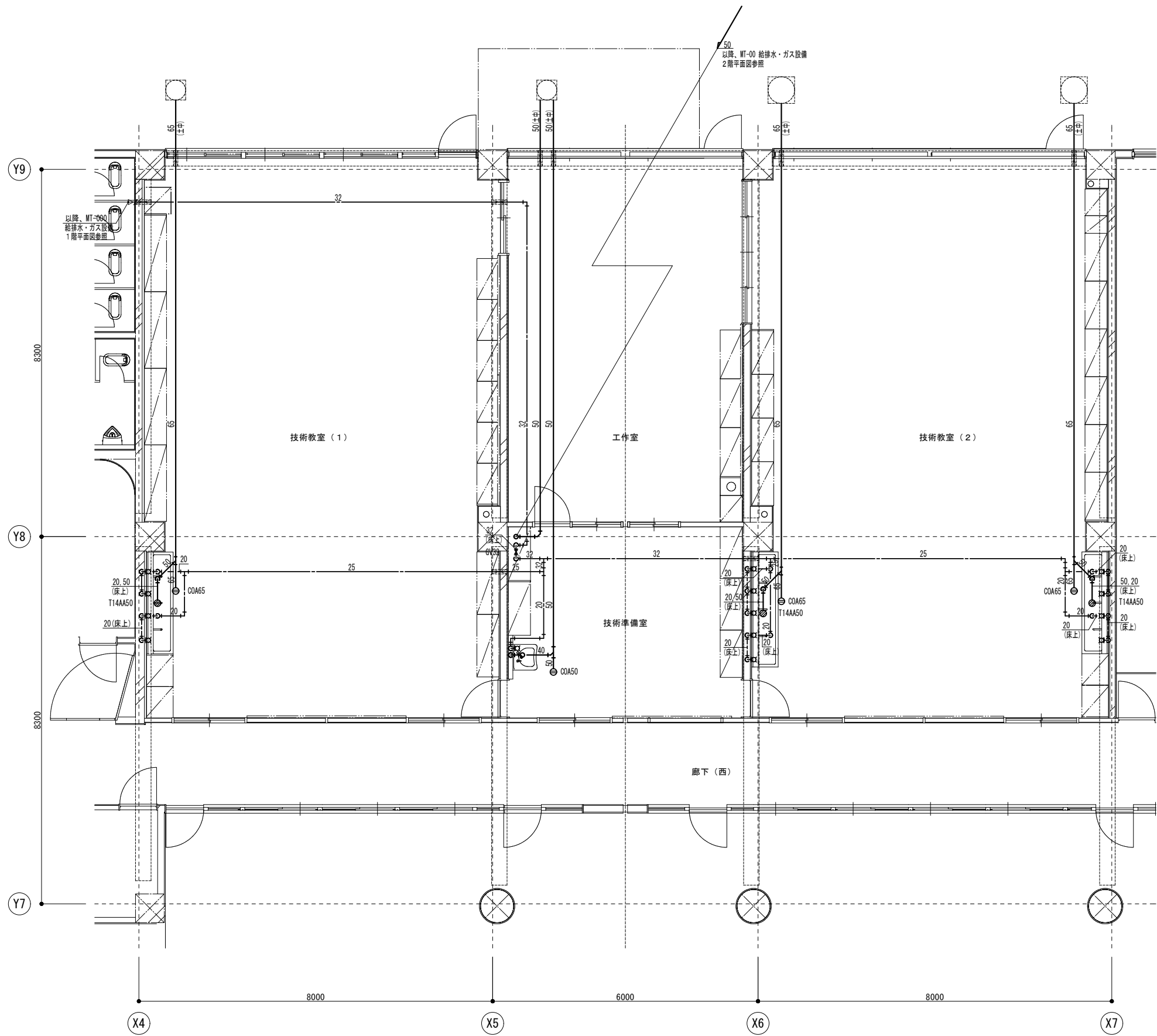
校舎棟 給排水・ガス設備 1階 保健室詳細図



校舎棟 給排水・ガス設備 1階 美術室廻り詳細図

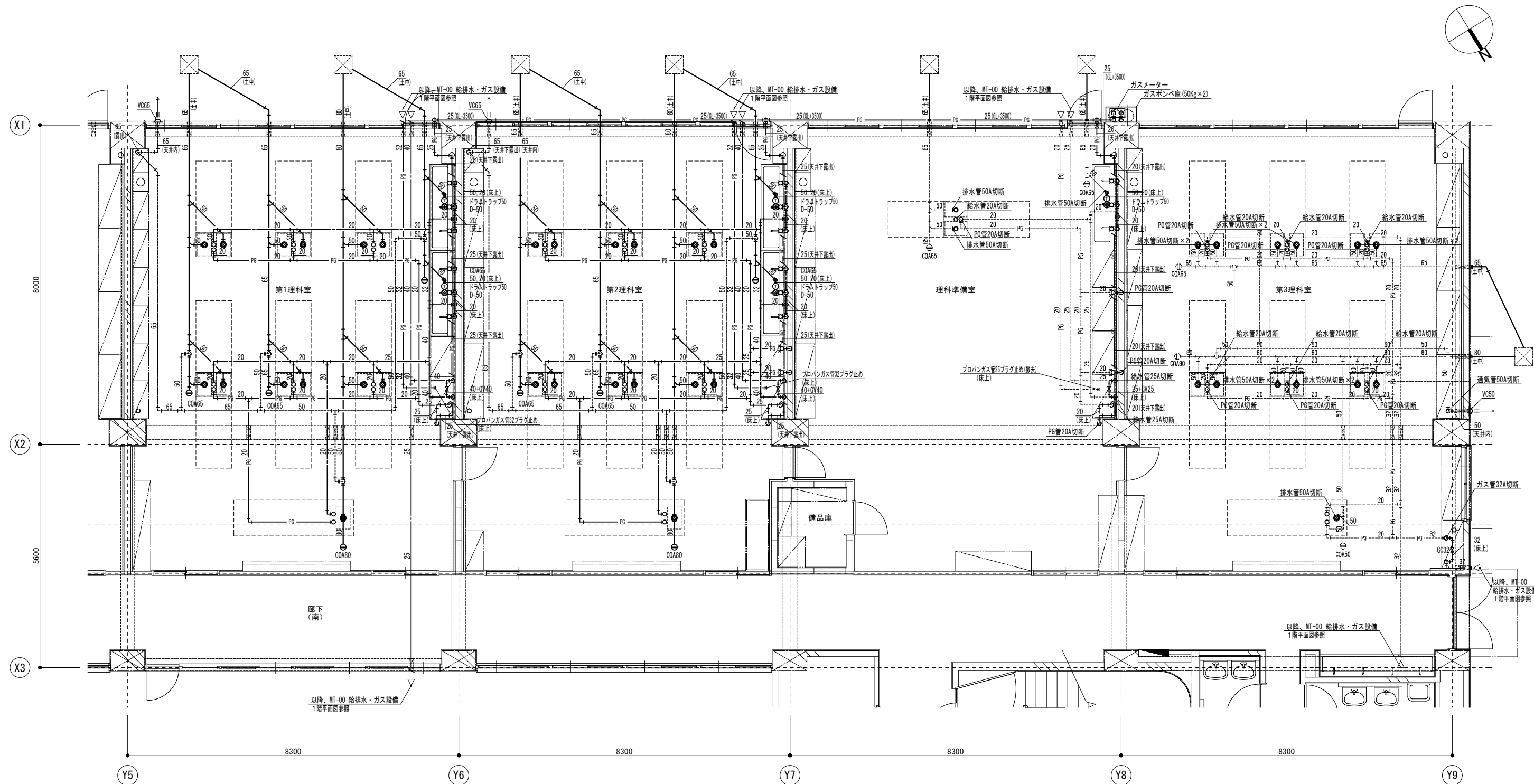
<撤去注記>
※1 (太実線)は撤去を示す。
※2 (細破線)は既設配管及び機器・器具を示す。
※3 特記無き配管は、床下土間配管を示す。
※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上は建築工事とする。
※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。

 KUJI ARCHITECTS STUDIO 株式会社 久慈設計 埼玉事務所 埼玉県さいたま市桜区西堀8-20-27 サニープレイス201号 TEL048-789-6033	一級建築士事務所 埼玉県 (1) 第11789号	承認	審査	検図	製図	特記			業務番号 23110	工事名称 鶴ヶ島中学校大規模改修工事（機械設備）		
	一級建築士登録 第323324号 千葉 聡									図面内容 校舎棟 給排水・ガス設備 詳細図（5）（撤去）		縮尺 A1:S=1/50 A3:S=1/100



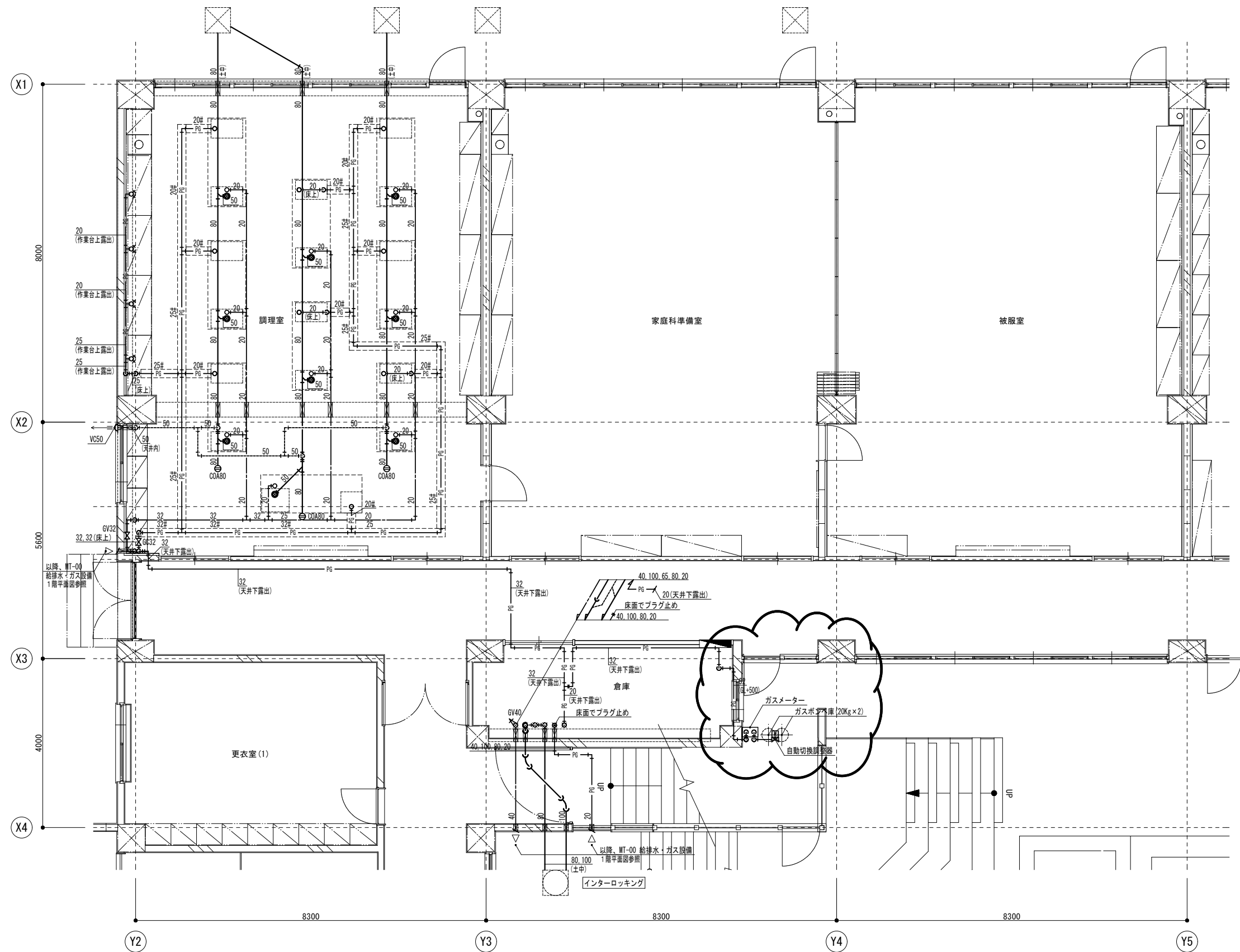
校舎棟 給排水・ガス設備 1階 技術室廻り詳細図

<撤去注記>
※1 太実線は撤去を示す。
※2 細破線は既設配管及び機器・器具を示す。
※3 特記無き配管は、床下土間配管を示す。
※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上は建築工事とする。
※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。



校舎棟 給排水・ガス設備 1階 理科室廻り詳細図

- <撤去注記>
- ※1 (太実線)は撤去を示す。
 - ※2 (細破線)は既設配管及び機器・器具を示す。
 - ※3 特記無き配管は、床下土間配管を示す。
 - ※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
 - ※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上りは建築工事とする。
 - ※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。

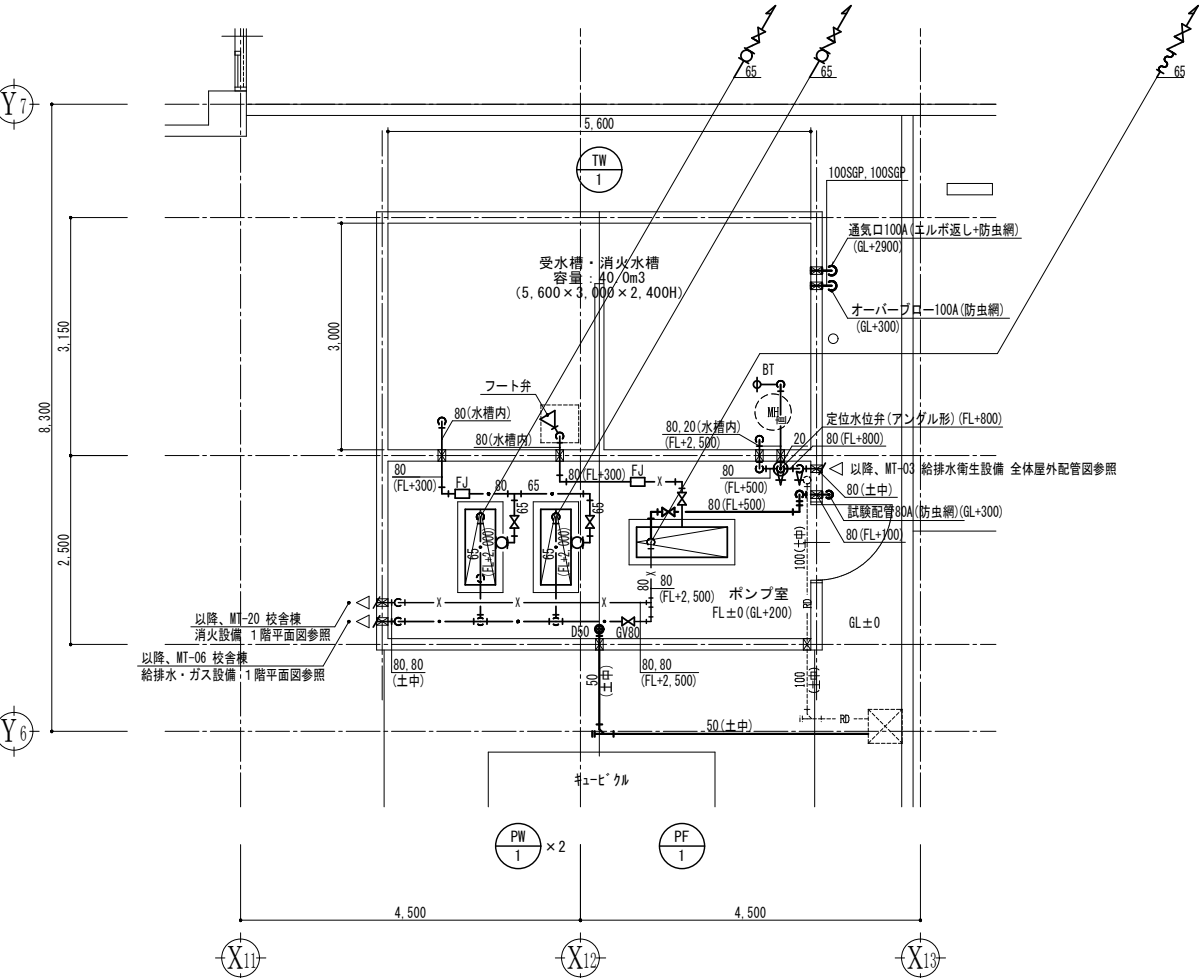


校舎棟 給排水・ガス設備 1階 家庭科室廻り詳細図

＜撤去注記＞
※1 太実線は撤去を示す。
※2 細破線は既設配管及び機器・器具を示す。
※3 特記無き配管は、床下土間配管を示す。
※4 配管口径末尾の#印は、トレンチ内配管を示す。
※5 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
※6 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上げは建築工事とする。
※7 残置配管の切断部はプラグ止めとする。

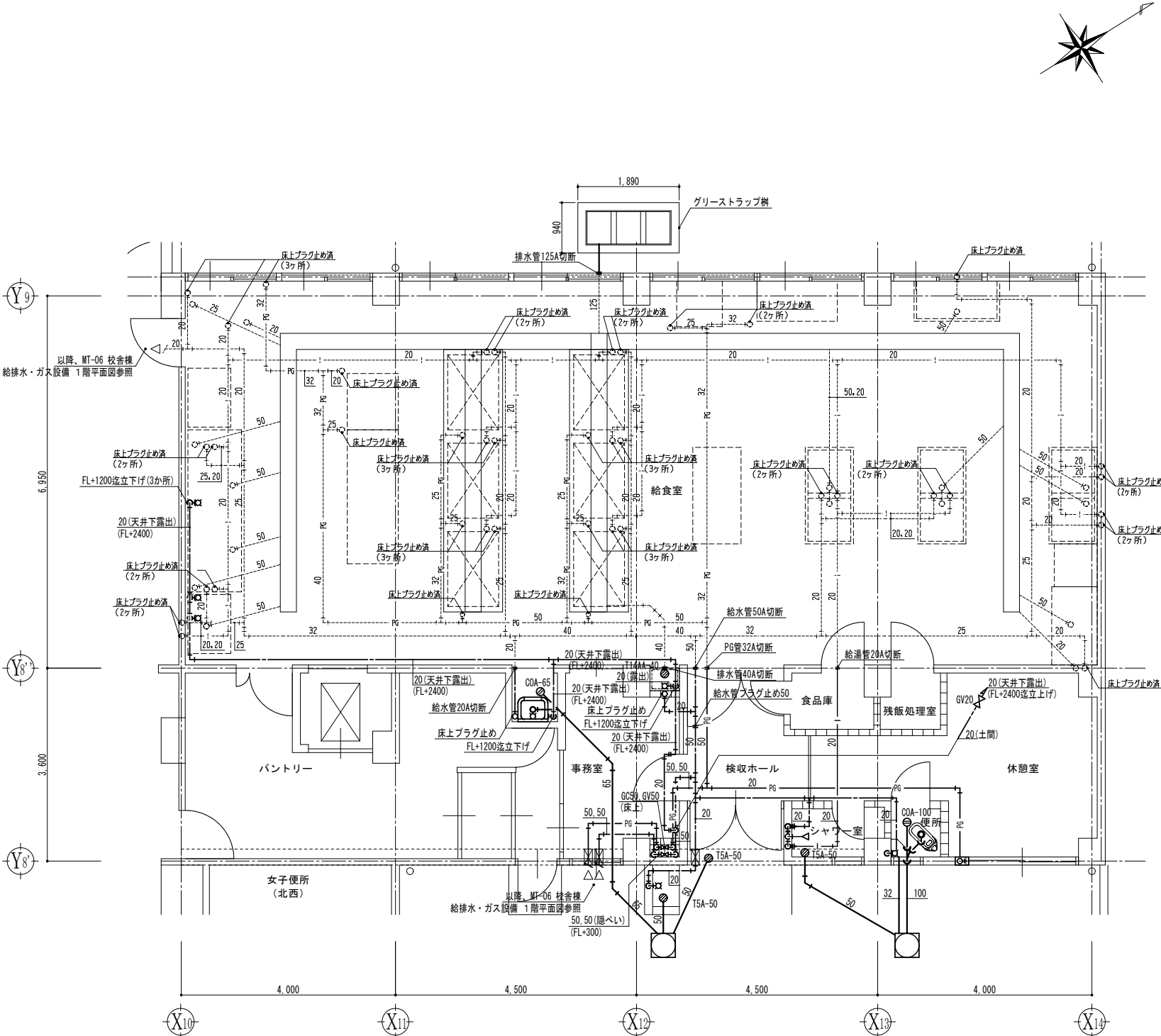
揚水ポンプ（PW-1）廻り弁リスト（1set当たり）			
名 称	口径	数量	
仕切弁（GV）	JIS5K	65	2
逆止弁（CV）	JIS10K	65	1
防振継手	ゴム製	65	2
消火ポンプユニット廻り弁リスト			
名 称	口径	数量	
仕切弁（GV）	JIS10K	80	3
逆止弁（CV）	JIS10K	80	1
フレキ継手（FJ）	SUS製300L	80	1
フート弁		80	1

受水槽（TW-1）廻り弁リスト			
名 称	口径	数量	
仕切弁（GV）	JIS10K	20	1
仕切弁（GV）	JIS10K	80	1
ボールタップ（BT）		20	1
定水位弁（アングル形）		80	1
フレキ継手（FJ）（揚水系統）	SUS製300L	80	1
フレキ継手（FJ）（消火系統）	SUS製300L	80	1



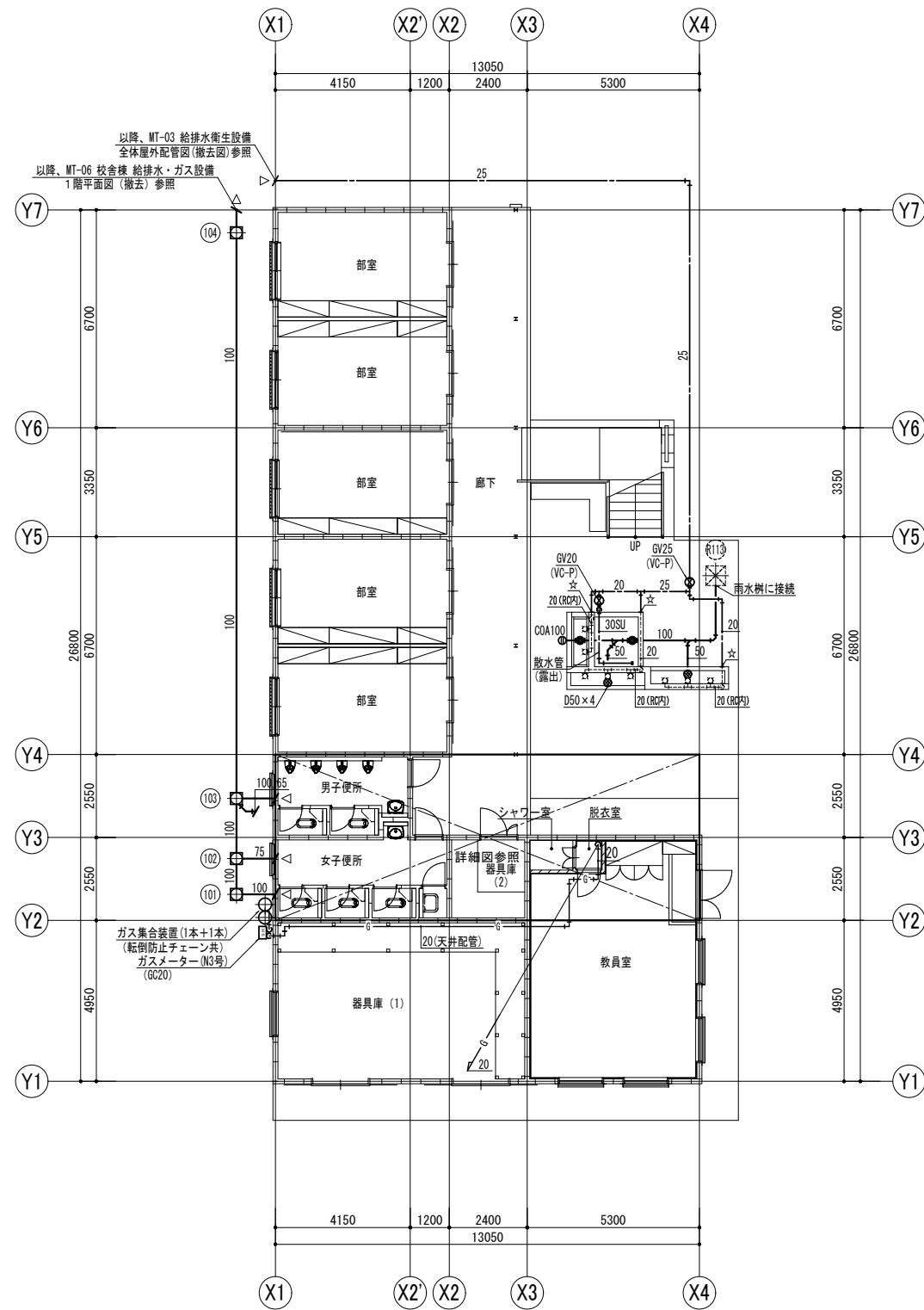
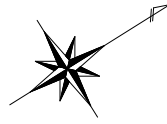
校舎棟 給排水・ガス設備 屋外ポンプ室廻り詳細図

<撤去注記>
※1 太実線は撤去を示す。
※2 細破線は既設配管及び機器・器具を示す。
※3 特記無き配管は、露出配管を示す。
※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等がある場合は、十分調査をし撤去する。
※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上げは建築工事とする。
※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。

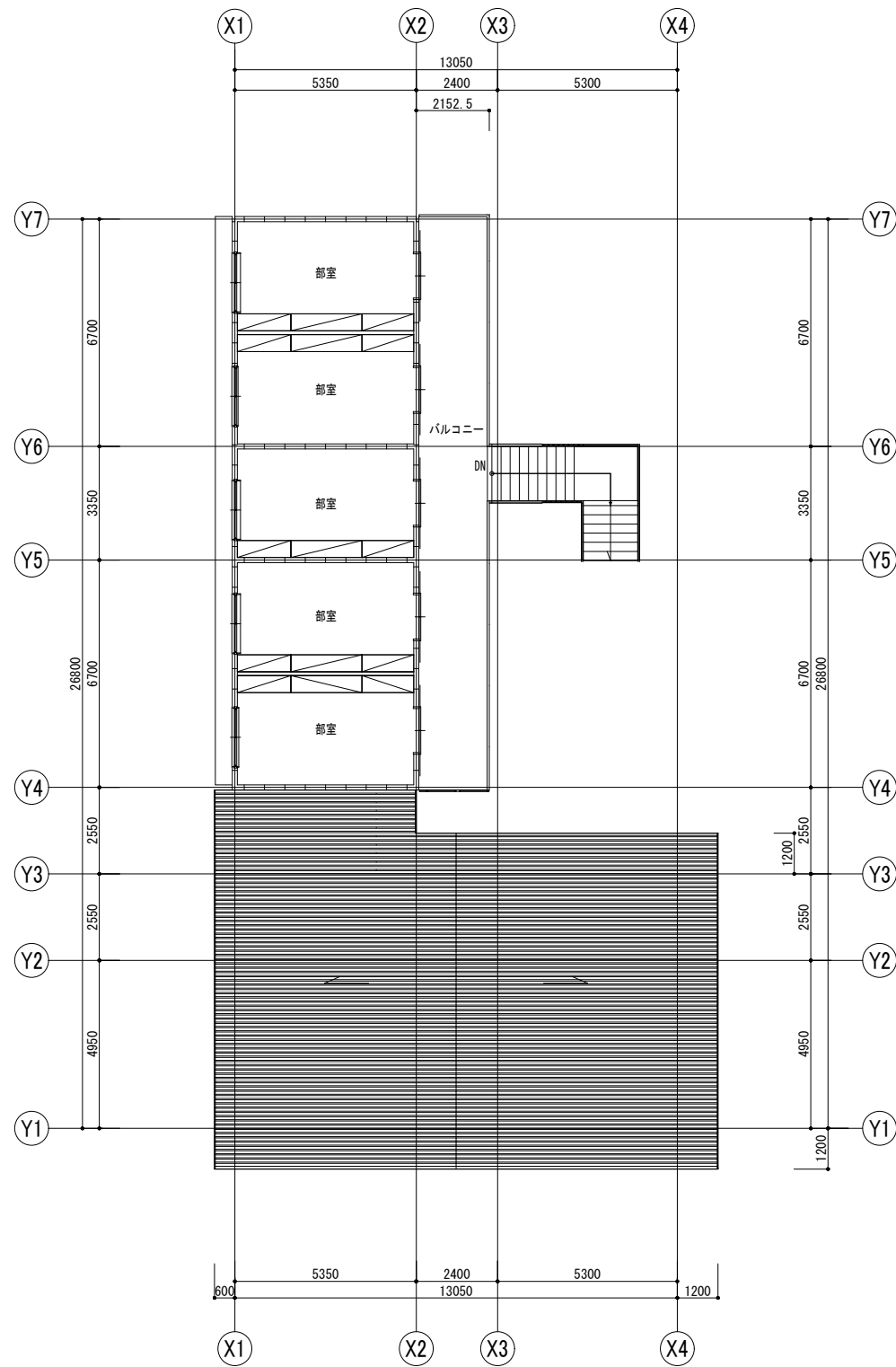


校舎棟 給排水・ガス設備 1階給食室詳細図

<撤去注記>
※1 太実線は撤去を示す。
※2 細破線は既設配管及び機器・器具を示す。
※3 特記無き配管は、露出配管を示す。
※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等がある場合は、十分調査をし撤去する。
※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上げは建築工事とする。
※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。

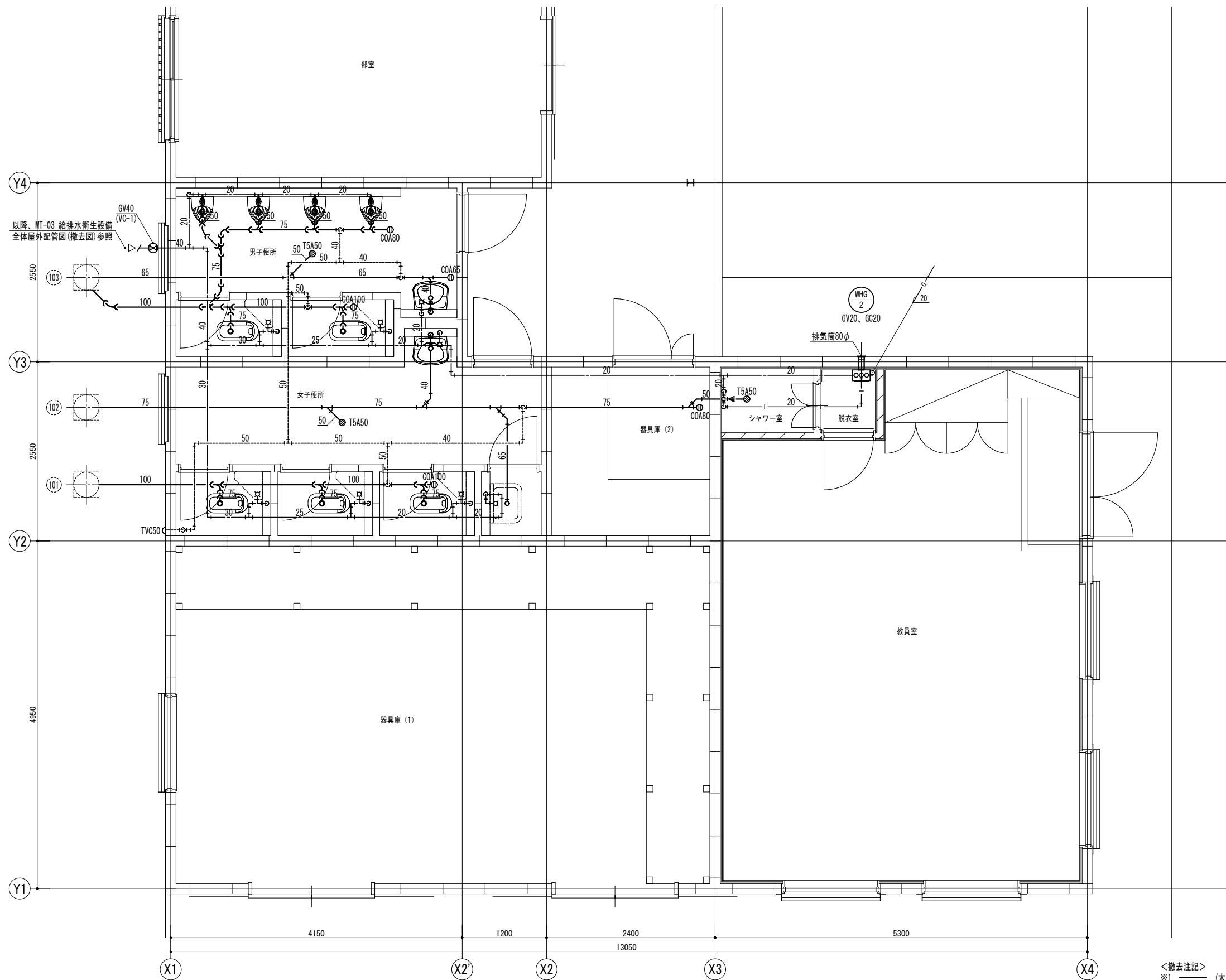


部室棟 給排水・ガス設備 1階平面図



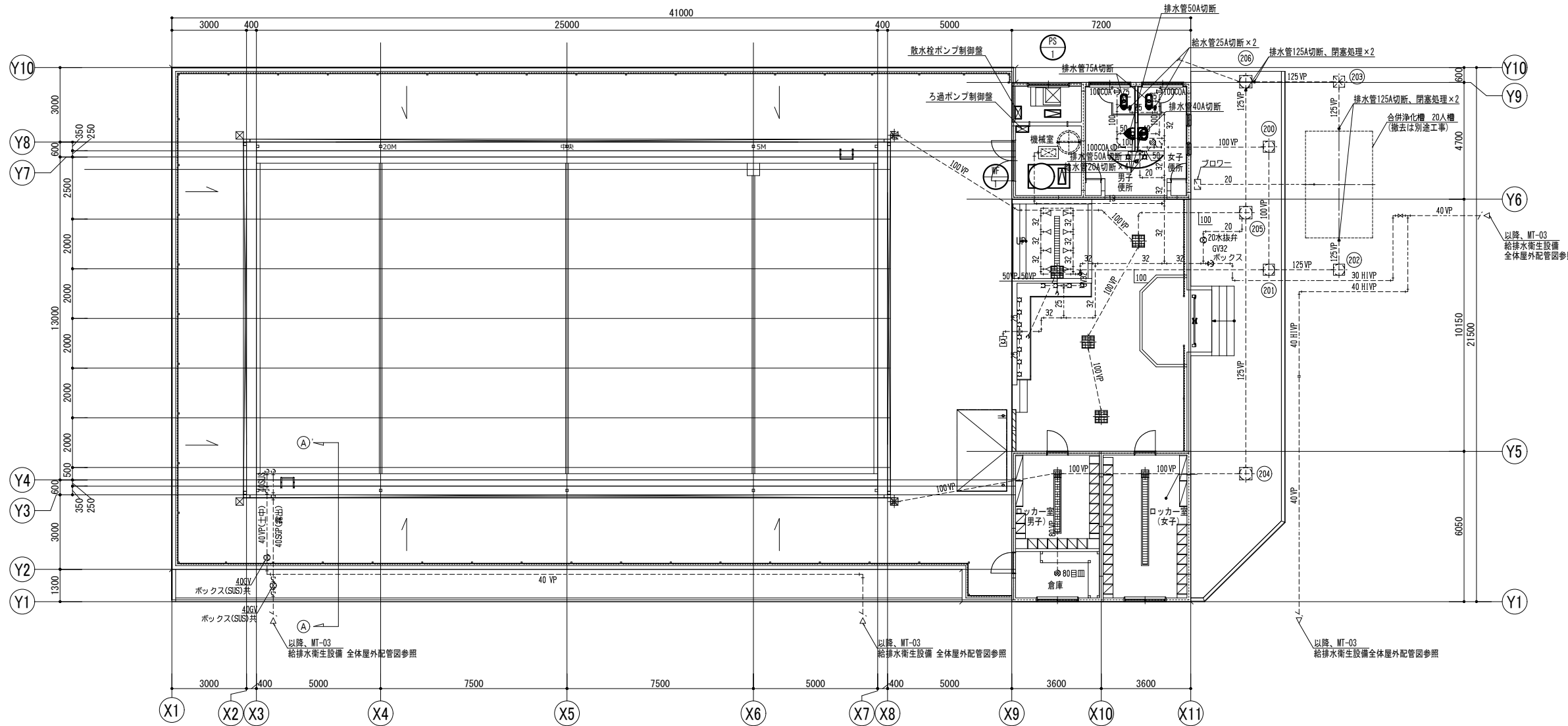
部室棟 給排水・ガス設備 2階平面図

- ＜撤去注記＞
- ※1 (太実線)は撤去を示す。
 - ※2 (細破線)は既設配管及び機器・器具を示す。
 - ※3 特記無き配管は、床下土間配管を示す。
 - ※4 特記無き排水管・通気管は、硬質塩化ビニル管(VP)を示す。
 - ※5 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
 - ※6 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上は建築工事とする。
 - ※7 ☆印は、既設管切断ヶ所を示す。

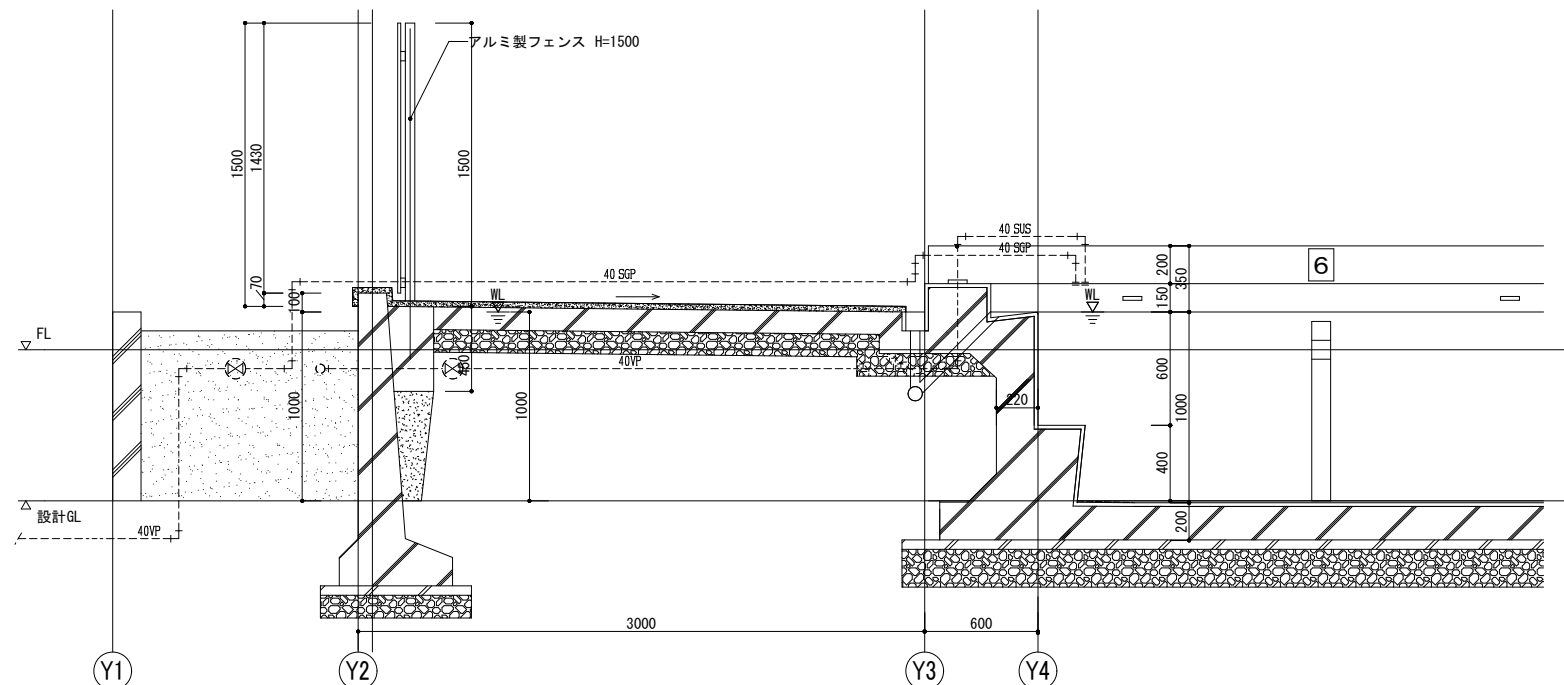


部室棟 給排水・ガス設備 平面詳細図

<撤去注記>
※1 太実線は撤去を示す。
※2 細破線は既設配管及び機器・器具を示す。
※3 特記無き配管は、床下土間配管を示す。
※4 特記無き排水管・通気管は、硬質塩化ビニル管 (VP) を示す。
※5 明示の無い不要な機器及び器具・配管等有る場合は、十分調査をし撤去する。
※6 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上げは建築工事とする。



プール棟 給排水衛生設備 平面図



A-A' 断面図 S=1/20

- ＜撤去注記＞
- ※1 (太実線) は撤去を示す。
 - ※2 (細破線) は既設配管及び機器・器具を示す。
 - ※3 特記無き配管は、床下土間配管を示す。
 - ※4 明示の無い不要な機器及び器具・配管等がある場合は、十分調査をし撤去する。
 - ※5 既存配管撤去後の壁・床貫通部穴埋めは本工事、補修仕上げは建築工事とする。
 - ※6 残置配管の切断部はプラグ止めとする。
 - ※7 内の配管及び配管付属品、プール棟全体の土間配管（樹含む）、浄化槽の撤去は、プール棟全体の解体工事（別途工事）で行うものとする。